



METROLOGIC INSTRUMENTS, INC
MetroSelect[®] 設定ガイド

著作権

© 2007 by Metrologic Instruments, Inc. 無断複写・転載を禁じます。本書のいかなる部分も、書評家が書評にて簡潔な一節を引用するか、1976年制定のアメリカ合衆国の著作権法の規定に記載されている以外は、事前の書面による承諾なしに、どのような形式であれ、任意の手段によって無断で複製、転写、保存することはできません。

商標

Metrologic は Metrologic Instruments, Inc. の登録商標です。この文書に記載の製品名は Metrologic Instruments, Inc. または各社の商標または登録商標です。

目次

まえがき	vii
シンボルキー	vii
バーコード設定方法	viii
シングルコード方式	viii
マルチコード方式	viii
最初からやり直す場合	ix
デフォルト	ix
セクション A:コードタイプとデフォルトの規定	1
UPC/EAN	1
Code128	3
Code39	4
Interleaved 2 of 5	6
スタンダード 2 of 5	9
その他 2 of 5 Codes	10
Codabar	12
Code 93 および Code 11	13
Telepen	14
Plessey Codes	15
その他デコード機能	17
設定可能なコードの読取桁数	18
RSS 14 機能	21
RSS 制限の機能	23
RSS 拡張の機能	25
セクション B:サブリメント	1
サブリメント/一致読取	1
サブリメント	3
セクション C:通信	1
通信	1
セクション D:スキャナの操作	1
設定モードのオプション	1
スキャンバッファ	2
読取一致回数	4
その他のデコード機能	6
読取深度の調整	7
同一シンボル・タイムアウト	8

バーコードの不在.....	9
LED オプション	10
ブザー音のオプション	12
キャラクタ間データ送信の遅延.....	17
記録間データ送信の遅延.....	18
通信タイムアウト・オプション.....	19
ホストスキヤナのコマンド	21
パワーセーブモード.....	26
日本語のダブルフィールドへの対応.....	30
テストモード.....	35
セクション E:プレフィックス/サフィックス	1
設定可能なプレフィックス（全データ）	1
設定可能な ID キャラクタ（特定コード）	3
スタンダード・プレフィックス・キャラクタ	8
スタンダード・サフィックス・キャラクタ	14
水平冗長検査（LRC）	16
設定可能なサフィックス（全データ）	17
特殊なフォーマット.....	20
キャラクタの置換.....	21
セクション F:コードフォーマット	1
UPC/EAN.....	1
Codabar	5
Code 39	7
Code 11 および Telepen	9
Plessey	10
2 of 5.....	12
セクション G:RS-232.....	1
RS-232 モードを有効にする.....	1
パリティの機能	2
ボーレート	3
データ/ストップビット.....	5
ハードウェアのハンドシェイク	6
ソフトウェアのハンドシェイク	9
その他.....	12
セクション H:キーボード.....	1
キーボード・エミュレーションを有効にする	1
各国/スキャンコード表選択.....	2
キーボード/システムタイプ	4

特殊キーボード機能.....	5
インタースキャン・コードの遅延.....	9
コントロールセット.....	10
コントロールセット #1.....	10
3151 端末キーボード.....	12
セクション I:OCIA.....	1
OCIA.....	1
セクション J:ライトペン／レーザーエミュレーション.....	1
ライトペン.....	1
ライトペン／細エレメント・ボーダーの設定.....	2
細エレメント幅の設定／レーザーエミュレーション.....	3
セクション K:IBM 46xx の設定.....	1
IBM 46xx の設定／IBM ポート.....	1
IBM 予備コード.....	2
セクション M:コードバイト.....	1
コードバイトの使用法.....	1
コードバイト 0-5.....	2
コードバイト 6-9.....	3
予備コード.....	4
コードバイト／コードタイプ表.....	5
ASCII 参照表.....	6
拡張キーコード参照表.....	11
セクション N:その他の機能.....	1
カスタムデフォルト.....	1
シリアル設定モード.....	5
ソフトウェア／シリアルナンバー.....	5
セクション O:AUX ポートのコントロール.....	1
AUX ポートを無効にする.....	1
AUX ポートおよび第 2 スキャナのデータフォーマット.....	1
追加 AUX ポートのデータフォーマット.....	4
AUX ポートのボーレート.....	5
AUX ポートのパリティ.....	7
AUX ポートのストップビット／データビット.....	8
AUX RTS/CTS およびモード 7.....	9
AUX D/E、F/L および M/O.....	10
AUX XON/XOFF および ACK/NAK.....	11
AUX CTS および RTS ポラリティ.....	12

AUX 同一シンボル・タイムアウト	12
主出力ポートの AUX データフォーマット	13
キャラクタ間の遅延	15
AUX ポートのコントロール	16
セクション P:USB	1
USB	1
セクション R:IS3480 / MS3580 / MS3780	1
IS3480 / MS3580 / MS3780	1
MS3780	3
IS3480 / MS3580 / MS3780	4
MS3780	6
セクション S:プロトコル・フォーマット	1
プロトコル・フォーマット	1

まえがき

この新しいスキャナには、工場出荷前にデフォルトのコミュニケーションプロトコル（初期設定）が設定されています。多くのホストシステムには、固有のフォーマットとプロトコル要件が設定されています。メトロロジックの製品では、本書の設定バーコードを選択することによって幅広い設定がご利用いただけます。

設定が完了したら、スキャナは不揮発性メモリ（NOVRAM）に設定を格納します。電源をオフにすると、NOVRAM は設定を保存します。

シンボルキーについて	
* （アスタリスク）	デフォルトの機能
~ （波形記号）	これらの機能には「マルチコード方式」を使用する必要があります。viii ページの「バーコード設定方法」を参照してください。
	重要
	メモ

バーコードの設定方法

メトロロジックのスキヤナは、2つの方法でバーコード設定ができます。
「シングルコード方式」と「マルチコード方式」です。

シングルコード方式

ほとんどの機能はシングルコード方式で有効または無効にすることができます。

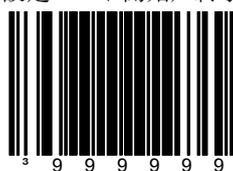
1. スキヤナの電源を入れます。
2. 希望する機能のバーコードをスキヤンします。
3. 設定が **NOVRAM** に保存されたことを示すマルチトーンの「設定保存」ブザーを確認します。

マルチコード方式

すべての機能は「マルチコード方式」で有効または無効にすることができます。
波形記号（～）のついた機能には「マルチコード方式」を使用する必要があります。

1. スキヤナの電源を入れます。
2. 「設定モード開始／終了」バーコードをスキヤンします。（ブザー音 3 回）
3. 希望する機能のバーコードをスキヤンします。（ブザー音 1 回）
4. 「設定モード開始／終了」バーコード（ブザー音 3 回）をスキヤンして、新しい設定を保存します。

設定モード開始／終了



設定の変更を中止するには、「設定モード開始／終了」バーコードをスキヤンする前に電源をオフにしてください。

最初からやり直す場合

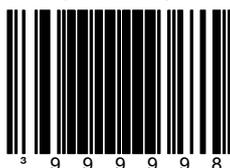
「デフォルト」バーコードをスキャンしてください。これまでの設定をすべて消去してスキャナをデフォルトのコミュニケーションプロトコル（初期設定）に戻します。

- キーボードウェッジ・インターフェース・スキャナはキーボードウェッジのデフォルトを読み込みます。
- その他のスキャナは **RS232** デフォルトを読み込みます。

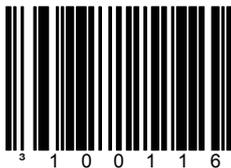


Metrologic は OEM のデフォルトを読み込める特別注文の OEM スキャナを製造しています。「メトロロジック・デフォルト」のコミュニケーションプロトコルに影響するかどうかは、セクション N の「カスタムデフォルト」を参照してください。

デフォルト



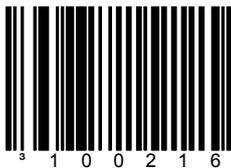
* UPC/EAN を有効にする



UPC/EAN を無効にする



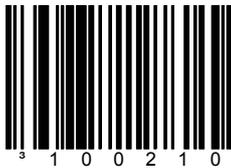
* UPC-A を有効にする



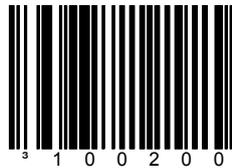
UPC-A を無効にする



* UPC-E を有効にする



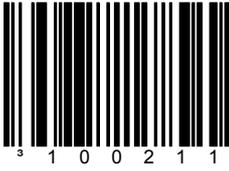
UPC-E を無効にする



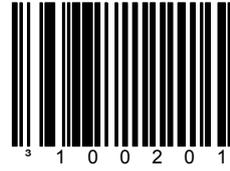
セクション A

UPC/EAN

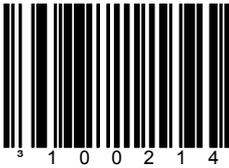
* EAN-13 を有効にする



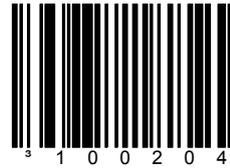
EAN-13 を無効にする



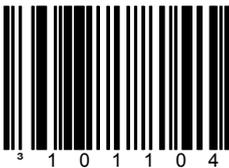
* EAN-8 を有効にする



EAN-8 を無効にする



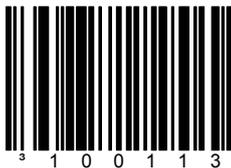
* UPC-E 自動 2 回
一致読取を有効にする



UPC-E 自動 2 回
一致読取を無効にする



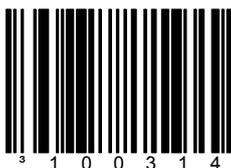
* Code 128 を有効にする



Code 128 を無効にする



UCC/EAN-28
「J1」コードフォーマット
を有効にする



UCC/EAN-128
「J1」コードフォーマット
を無効にする



クーポンコード 128 については、5ページのセクション B を参照してください。

セクション A

Code 39

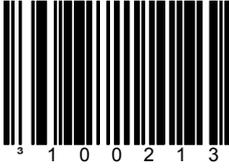
* Code 39 を有効にする



Code 39 を無効にする



Code 39 で MOD 43 チェック
を有効にする



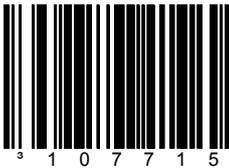
スキャナは有効な Modulo 43
チェック・デジットつきの
Code 39 バーコードのみス
キャンします。

* Code 39 で MOD 43 チェッ
クを無効にする



スキャナは Code 39 バーコー
ドの Modulo 43 チェック・デ
ジットをテストしません。

Code 39 で Mode 43 のチェッ
ク・デジットを送信する



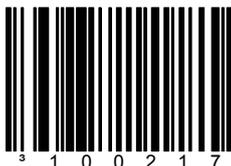
この機能は「Code 39 で
MOD 43 チェックを有効にする」と併用します。この機能を稼働させるには、両オプションとも有効にしてください。

* Code 39 で Mode 43 の
チェック・デジットを送信
しない



この機能では Code 39 の
Mod 43 チェック・デジット
を送信しません。

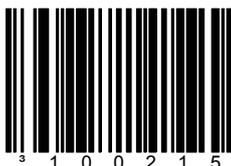
Full ASCII Code 39 を有効にする



* Full ASCII Code 39 を無効にする



PARAF 対応を有効にする
(イタリアの薬品コード)



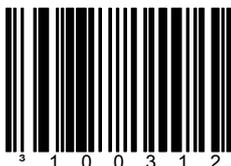
* PARAF 対応を無効にする



スキャナは Code 39 バーコードを PARAF フォーマットに変換します。

スキャナは Code 39 バーコードを PARAF フォーマットに変換しません。

TRI-OPTIC Code を有効にする



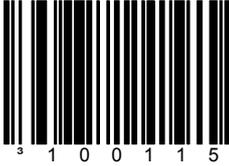
* TRI-OPTIC Code を無効にする



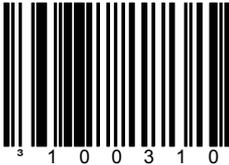
セクション A

Interleaved 2 of 5

* Interleaved 2 of 5 (ITF)
を有効にする

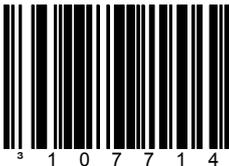


ITF の MOD 10 チェック・
デジットを有効にする



スキャナは Modulo 10 チェック・
デジットつきの Interleaved 2 of 5 (ITF) バー
コードのみをスキャンしま
す。

ITF で MOD 10 チェック・
デジットを送信する

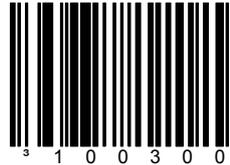


スキャナは Interleaved 2 of 5
(ITF) の MOD 10 チェック
キャラクタを送信します。

Interleaved 2 of 5 (ITF) を無
効にする

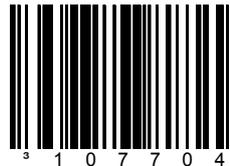


* ITF の MOD 10 チェック・
デジットを無効にする



スキャナは Interleaved 2 of 5
(ITF) バーコードの Modulo
10 チェック・デジットをテス
トしません。

* ITF で MOD 10 チェック・
デジットを送信しない

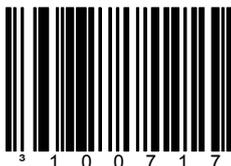


スキャナは Interleaved 2 of 5
(ITF) の MOD 10 チェック
・デジットを送信しませ
ん。この機能は「ITF で MOD
10 チェック」と併用します。
この機能を稼働させるには、
両方とも有効にしてくださ
い。

セクション A

Interleaved 2 of 5

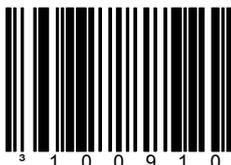
ALT チェック・デジット ITF
を有効にする



* ALT チェック・デジット
ITF を無効にする



12桁 ITF チェック・デジット
(1桁目)を有効にする

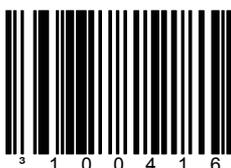


* ノーマルチェック・
デジット



この機能を有効にするには
「MOD 10 ITF チェック・デ
ジットが有効」でなければな
りません。12 キャラクタ ITF
チェック・デジット計算は 0
桁目ではなく 1 桁目から始ま
ります。

ITF/Code 39 フィルタを有効
にする



* ITF/Code 39 フィルタを無
効にする



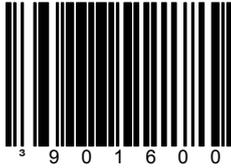
Code 39/ITF フィルタに対応



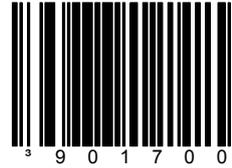
この機能は Codabar、
Code 93、その他の非標
準的なシンボルの読み
取りに悪影響を与える
ことがあります。

セクション A

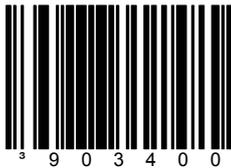
Interleaved 2 of 5

~ ITF 読取桁数固定 #1[†]

最初の ITF 読取桁数を固定するには、上記バーコードとセクション M[†]にある適切なコードバイトをスキャンしてください。

~ ITF 読取桁数固定 #2[†]

2 番目の ITF 読取桁数を固定するには、上記バーコードとセクション M[†]にある適切なコードバイトをスキャンしてください。

~ ITF 最小読取桁数 #[†]

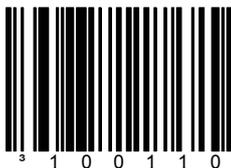
デコードする ITF の最小読取桁数を指定するには、上記バーコードとセクション M[†]にある適切なコードバイトをスキャンしてください。

† viii ページのマルチコード設定方法を参照してください。

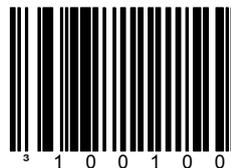
セクション A

スタンダード 2 of 5

スタンダード 2 of 5 を有効にする



* スタンダード 2 of 5 を無効にする



~ スタンダード 2 of 5
読取桁数固定



デコードする ITF の読取桁数を固定するには、上記バーコードとセクション M[†]にある適切なコードバイトをスキャンしてください。

† viii ページのマルチコード設定方法を参照してください。

セクション A

その他 2 of 5 Codes

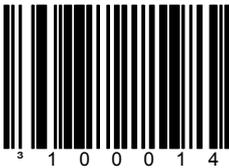
Matrix 2 of 5 を有効にする



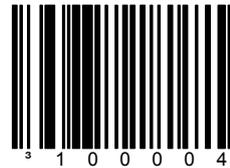
* Matrix 2 of 5 を無効にする



15桁 Airline 2 of 5 を有効にする



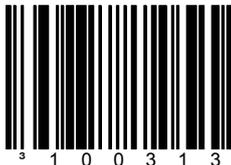
* 15桁 Airline 2 of 5 を無効にする



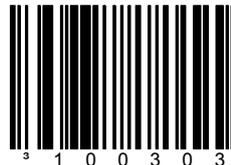
セクション A

その他 2 of 5 Codes

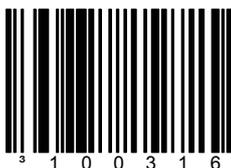
13桁 Airline 2 of 5 を有効にする



* 13桁 Airline 2 of 5 を無効にする



Hong Kong 2 of 5 を有効にする



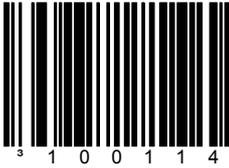
* Hong Kong 2 of 5 を無効にする



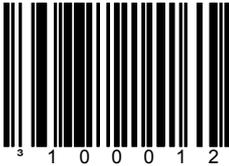
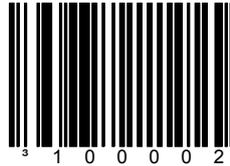
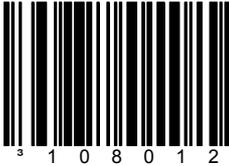
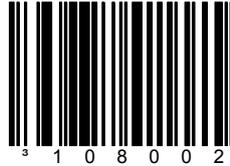
セクション A

Codabar

* Codabar を有効にする



* Codabar を無効にする

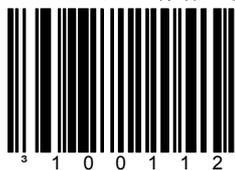
デュアルフィールド Codabar
を有効にする* デュアルフィールド
Codabar を無効にするデュアル Codabar で Tab を
有効にする* デュアル Codabar で Tab
を無効にする

この機能を有効にするには「デュアルフィールド Codabar」が有効でなければなりません。スキャナはデュアルフィールド Codabar のフィールド間に Tab を挿入します。

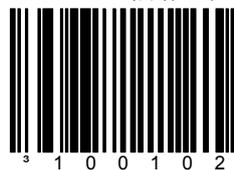
セクション A

Code 93 および Code 11

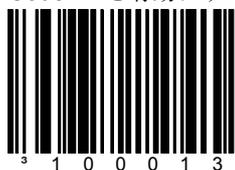
* Code 93 を有効にする



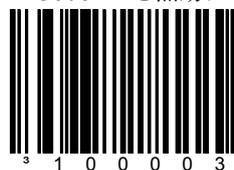
Code 93 を無効にする



Code 11 を有効にする



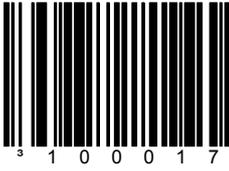
* Code 11 を無効にする



セクション A

Telepen

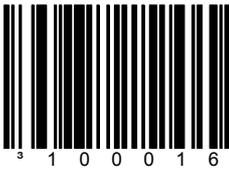
Telepen を有効にする



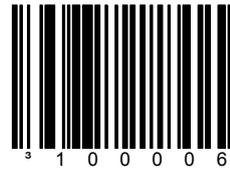
* Telepen を無効にする



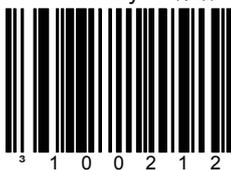
ALPHA Telepen を有効にする



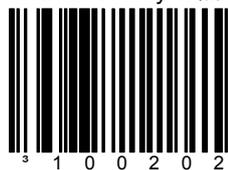
* ALPHA Telepen を無効にする



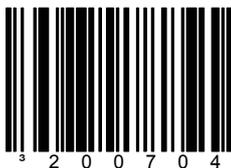
MSI Plessey を有効にする



* MSI Plessey を無効にする



* MSI Plessey チェック・
デジットなし



スキャナは MSI Plessey バー
コードのチェック・デジット
をテストしません。

MSI Plessey MOD 10/10
チェック・デジットを有効に
する



スキャナは MSI Plessey バー
コードの 2 桁の Modulo 10
チェック・デジットをテスト
します。

* MSI Plessey MOD 10 チェッ
ク・デジットを有効にする

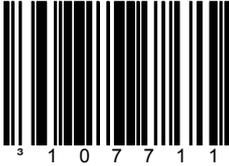


スキャナは MSI Plessey バー
コードの 1 桁の Modulo 10
チェック・デジットをテストし
ます。

セクション A

Plessey Codes

MSI Plessey チェック・デジットを送信する



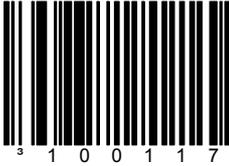
この機能は「MSI Plessey モードを有効にする」オプションのうち 1 つまたは両方と併用することで有効になります。

* MSI Plessey チェック・デジットを送信しない

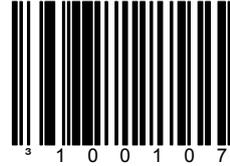


スキャナは MSI Plessey チェック・デジットを送信しません。

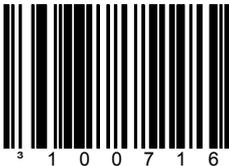
UK Plessey を有効にする



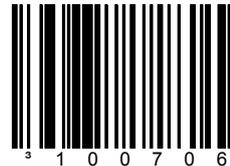
* UK Plessey を無効にする



UK Plessey の A から X への変換を有効にする



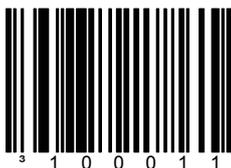
* UK Plessey の A から X への変換を無効にする



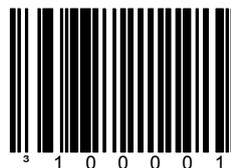
セクション A

その他デコード機能

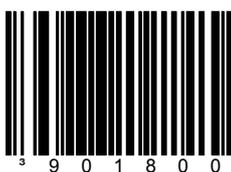
ダブルボーダー要求／広い文字間余白を有効にする



* ダブルボーダー要求／広い文字間余白を無効にする

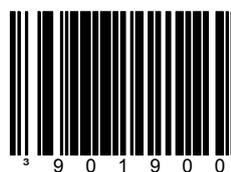


～ 最小読取桁数[†]



全方向読取のデフォルトは 4 桁です。このコードを適切なコードバイトと組み合わせ、UPC/EAN 以外のバーコードの最小読取桁数を指定します。[†]

～ 読取桁数固定[†]



このコードを適切なコードバイトと組み合わせ、読み取りできるバーコードの桁数を固定します。

[†] viii ページのマルチコード設定方法を参照してください。

セクション A

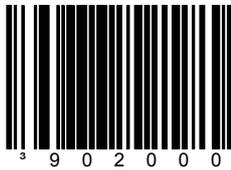
設定可能なコードの読取桁数

バーコードの読取桁数の固定を最大7種類まで設定できます。コードタイプを指定すると読取桁数が割り当てられます。マルチコード設定方法で、次の事項を行います。

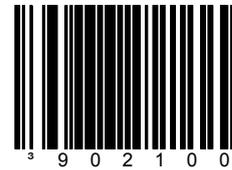
例

1. 「設定モード開始／終了」バーコードをスキャンします。
2. 「読取コード固定#1：桁数」のバーコードをスキャンします。
3. コードの桁数を示す3つのコードバイトをスキャンします。
4. 「読取コード固定#1：コードタイプ」バーコードに適合するコードタイプをスキャンします。
5. コードタイプを表す3つのコードバイトをスキャンします。セクション M のコードタイプ表を参照してください。
6. 読取桁数固定#2 から#7 に対し、必要に応じて上記ステップ 2 から 5 までのプロセスを繰り返してください。
7. 設定を保存するため「設定モード開始／終了」バーコードをスキャンします。

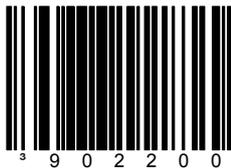
～ 読取コード固定#1：桁数



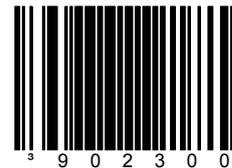
～ 読取コード固定#1：
コードタイプ



～ 読取コード固定#2：桁数



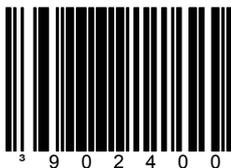
～ 読取コード固定 #2：
コードタイプ



セクション A

設定可能なコードの読取桁数

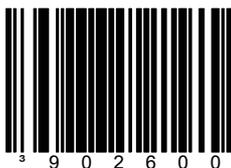
～ 読取コード固定#3：桁数



～ 読取コード固定#3：
コードタイプ



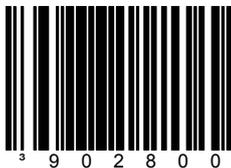
～ 読取コード固定#4：桁数



～ 読取コード固定 #4：
コードタイプ



～ 読取コード固定 #5：桁数



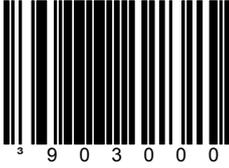
～ 読取コード固定 #5：
コードタイプ



セクション A

設定可能なコードの読取桁数

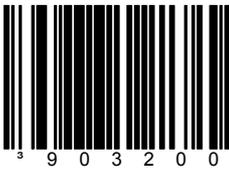
～ 読取コード固定 #6 : 桁数



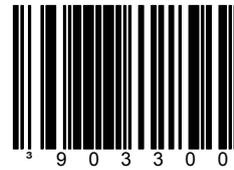
～ 読取コード固定 #6 :
コードタイプ



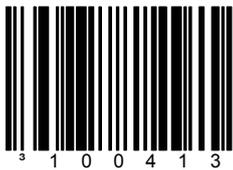
～ 読取コード固定 #7 : 桁数



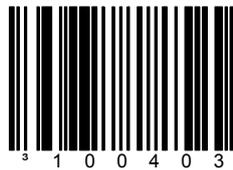
～ 読取コード固定 #7 :
コードタイプ



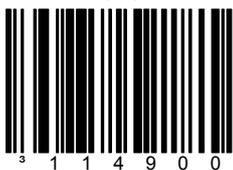
RSS 14 を有効にする



* RSS 14 を無効にする



* RSS 14 チェック・デジットを送信する



RSS 14 チェック・デジットを送信しない



セクション A

RSS 14 機能

* RSS 14 アプリケーション ID を送信する



アプリケーション ID の「01」はデフォルトで送信されます。

RSS 14 アプリケーション ID を送信しない

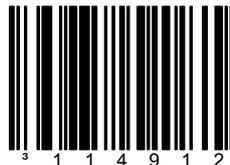


* RSS 14 シンボル ID を送信する

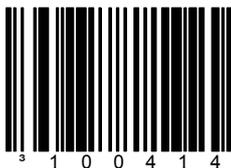


デフォルトではシンボル ID の「je0」が送信されます。

RSS 14 シンボル ID を送信しない



RSS 制限を有効にする



* RSS 制限を無効にする



* RSS 制限チェック・デジットを送信する



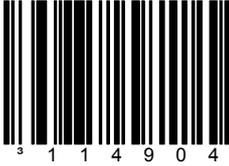
RSS 制限チェック・デジットを送信しない



セクション A

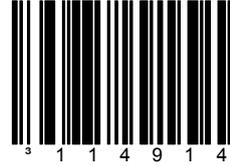
RSS 制限の機能

* RSS 制限アプリケーション ID を送信する

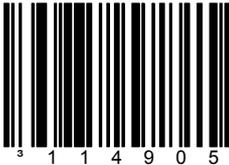


デフォルトではアプリケーション ID の「01」が送信されます。

RSS 制限アプリケーション ID を送信しない

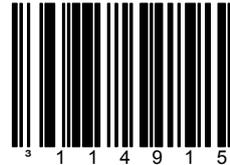


* RSS 制限シンボル ID を送信する

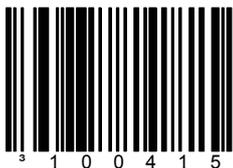


デフォルトではシンボル ID の「e0」が送信されます。

RSS 制限シンボル ID を送信しない



RSS 拡張を有効にする



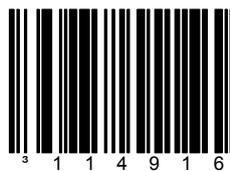
* RSS 拡張を無効にする



* RSS 拡張シンボル ID を送信する



RSS 拡張シンボル ID を送信しない

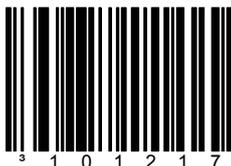


デフォルトではシンボル ID の「[e0]」が送信されます。

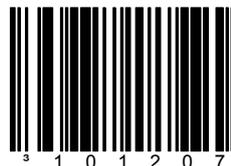
セクション B

サプリメント/一致読取

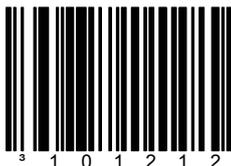
2桁のサプリメントを有効にする



* 2桁のサプリメントを無効にする



* 2桁の2回一致読取を有効にする



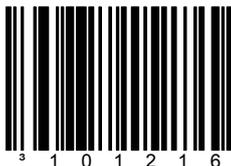
2桁の2回一致読取を無効にする



スキャナはバーコードおよび2桁のサプリメントをスキャンし、データが2回一致した後にデータを受け付けます。

スキャン時に2桁の2回一致読取の機能を実行しません。

5桁のサプリメントを有効にする



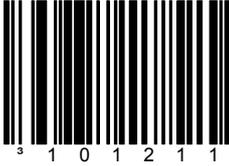
* 5桁のサプリメントを無効にする



セクション B

サプリメント/一致読取

5 桁の 2 回一致読取を有効にする



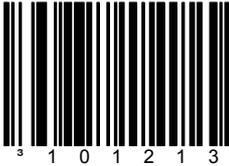
スキャナはバーコードおよび 5 桁のサプリメントをスキャンし、データが 2 回一致した後にデータを受け付けます。

* 5 桁の 2 回一致読取を無効にする



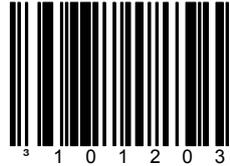
スキャン時に 5 桁の 2 回一致読取の機能を実行しません。

サプリメントの必要あり



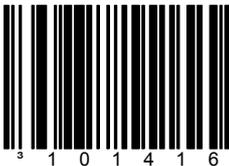
スキャンされた UPC/EAN ラベルはすべてサプリメントが必要です。

* サプリメントの必要なし

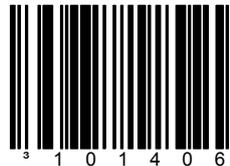


スキャンされた UPC/EAN ラベルにサプリメントは必要ありません。

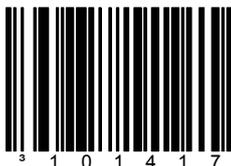
Remote サプリメント要求を有効にする



* Remote サプリメント要求を無効にする



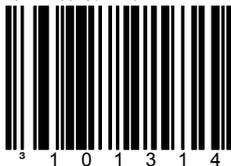
Bookland (978) サプリメント
要求を有効にする



* Bookland (978) サプリメント
要求を無効にする



977 (2桁) サプリメント要求を有効にする



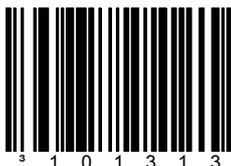
* 977 (2桁) サプリメント
要求を無効にする



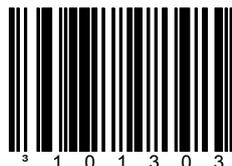
EAN-13 code が 977 で始まる
場合、スキャナは 2 桁のサ
プリメントのスキャンを要求し
ます。

EAN-13 code が 977 で始まる
場合、スキャナは 2 桁のサ
プリメントのスキャンを要求し
ません。

378/379 French サプリメント
要求を有効にする



* 378/379 French サプリメン
ト要求を無効にする



セクション B

サブプリメント

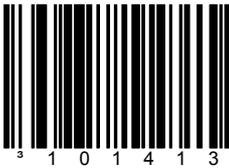
434/439 German サプリメント
 要求を有効にする



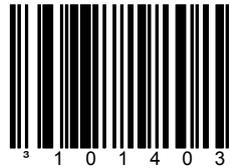
* 434/439 German サプリメント
 要求を無効にする



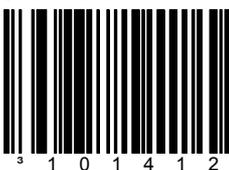
414/419 German サプリメント
 要求を有効にする



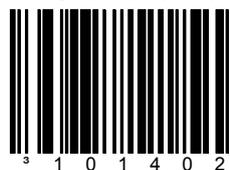
* 414/419 German サプリメント
 要求を無効にする



#システム 2 のサブプリメント
 要求を有効にする



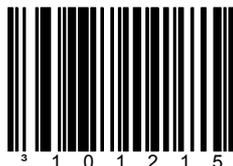
* #システム 2 のサブプリメント
 要求を無効にする



セクション B

サプリメント

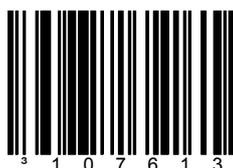
#システム 5 のサプリメント
要求を有効にする



* #システム 5 のサプリメント
要求を無効にする



8711685 の 5 桁のサプリメント
要求を有効にする



* 8711685 の 5 桁のサプリメント
要求を無効にする



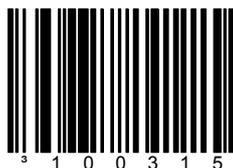
EAN-13 code が 8711685 で
始まる場合、スキャナは 5 桁
のサプリメントのスクリーンを
要求します。



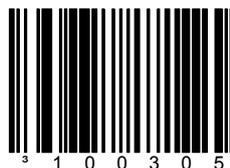
この機能は機種によっ
てはご利用いただけま
せん。

EAN-13 code が 8711685 で
始まる場合、スキャナは 5 桁
のサプリメントのスクリーンを
要求しません。

クーポンコード 128 を有効に
する



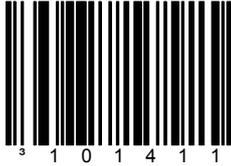
* クーポンコード 128 を無効
にする



セクション B

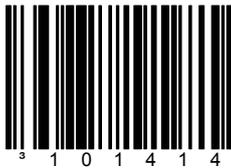
サプリメント

Code 128 「]C1」 拡張コード
フォーマットを有効にする



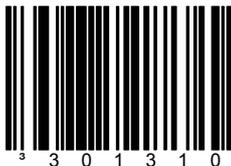
スキャナはクーポンコードの
Code 128 部分の始めに
「]C1」を送信します。

128 グループセパレータを有
効にする



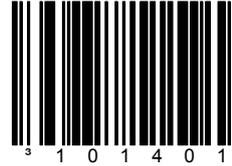
クーポンコード 128 code と
ともに GS (1DH) キャラク
タが送信されます。

* 100 ミリ秒のサプリメント
検索



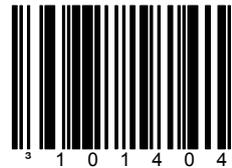
主要な UPC/EAN バーコード
がスキャンされた後、スキャ
ナはサプリメントの検索に
100 ミリ秒を割り当てます。

* Code 128 「]C1」 拡張コー
ドフォーマットを無効にす
る



スキャナはクーポンコードの
Code 128 部分の始めに
「]C1」を送信しません。

* 128 グループセパレータを
無効にする



クーポンコード 128 code と
ともに GS (1DH) キャラク
タが送信されません。

200 ミリ秒のサプリメント
検索



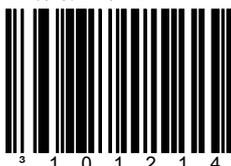
主要な UPC/EAN バーコード
がスキャンされた後、スキャ
ナはサプリメントの検索に
200 ミリ秒を割り当てます。

400 ミリ秒のサプリメント
検索



主要な UPC/EAN バーコード
がスキャンされた後、スキャ
ナはサプリメントの検索に
400 ミリ秒を割り当てます。

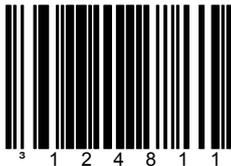
サプリメントつきコード ID
を有効にする



* サプリメントつきコード ID
を無効にする

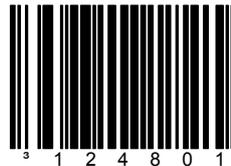


977 バーコードで 2/5 桁を許
可する



この機能は 977 モードが稼働
している場合、2 桁または 5
桁のサプリメントを許可しま
す。

977 バーコードで 2 桁を許可
する



この機能は 977 モードが稼働
している場合、2 桁のサプ
リメントを許可します。

セクション B

サブプリメント

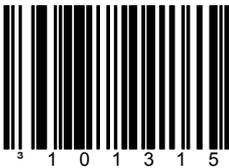
* サプリメントにつきブザー音を1回鳴らす



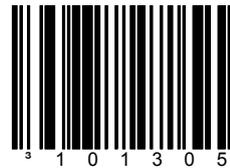
サブプリメントにつきブザー音を2回鳴らす



ISBN チェック・デジットの送信を有効にする

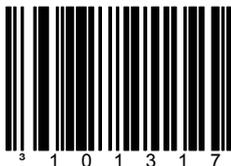


ISBN チェック・デジットの送信を無効にする



 この機能は機種によってはご利用いただけません。

Bookland から ISBN への変換
を有効にする

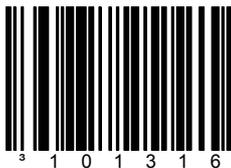


 この機能は機種によっ
てはご利用いただけま
せん。

* Bookland から ISBN への変換を無効にする



ISBN 再フォーマットを有効
にする



 この機能は機種によっ
てはご利用いただけま
せん。

* ISBN 再フォーマットを無
効にする



セクション B

サプリメント

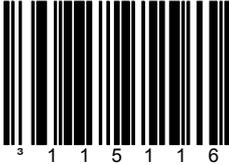
ISSN チェック・デジットの
送信を有効にする



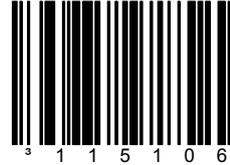
* ISSN チェック・デジットの
送信を無効にする



ISSN 再フォーマットを有効
にする

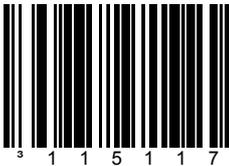


* ISSN 再フォーマットを無
効にする



バーコードとともにハイフン
を送信します。

977 から ISSN への変換を有
効にする



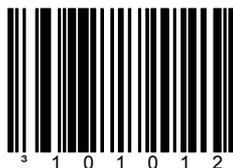
* 977 から ISSN への変換を
無効にする



977periodical を ISSN フォー
マットに変換します

977periodical を ISSN フォー
マットへ変換しません

ナンバーシステム 4 のクーポンコード 128 を有効にする

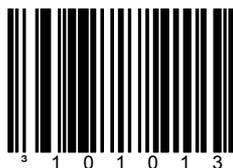


ナンバーシステム 4 バーコードのクーポンコード 128 に対応します。

* ナンバーシステム 4 のクーポンコード 9128 を無効にする



UPC 廃棄を有効にする

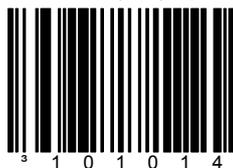


クーポンコード 128 の Code 128 部分がスキャンされた場合 UPC 廃棄に対応します。

* UPC 廃棄を無効にする



サプリメントと UPC を同一ラインで許可する



 この機能を有効にするには、2 桁のサプリメントと同時に 2 回一致読取とサプリメントの要求を有効にしなければなりません。

サプリメントと UPC を同一ラインで無効にする



* RS-232 を有効にする



スキャナは RS-232 ±12V のシリアル出力となります。

キーボードウェッジのデフォルトを読み込む



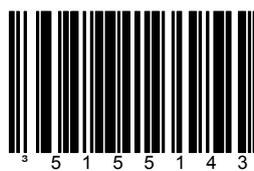
ノーマルまたはスタンドアロンのウェッジモードを選択する前にこのコードをスキャンしてください。

ライトペン/Wand 通信を有効にする



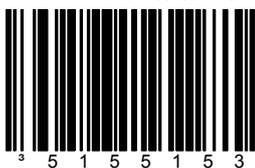
スキャナがライトペンの代わりに使用される場合、この機能を使用します。

キーボードウェッジエミュレーションを有効にする



スキャナがスキャンしたバーコードデータを、PC キーボードスキャンコードデータに変換してキーボード・エミュレーションする場合、これを選択します。

スタンドアローン・キーボードスキャナを有効にする



外部キーボードなしでスキャナを使用できます。

セクション C

通信

OCIA デフォルトを読み込む



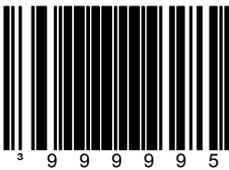
「OCIA 出力を有効にする」を選択する前にこのコードをスキャンしてください。

OCIA 出力を有効にする



通信要件が OCIA（光結合インターフェース）の場合、この機能を選択します。これはホストとドッキングしているシリアルインターフェースです。

IBM 46xx デフォルトを読み込む



「IBM 46xx 通信を有効にする」を選択する前にこのバーコードをスキャンしてください。

IBM 46xx 通信を有効にする

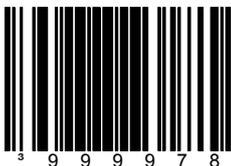


IBM 46xx SIOC/RS485 通信の場合、この機能を選択します。



この機能に対応しないスキャナもあるので、正しいインターフェースボードが必要です。

低速外部 USB デフォルトを
読み込む†

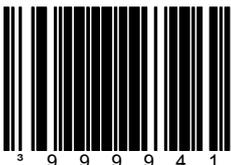


† 高速 USB のオプションについては
セクション P を参照してください。

低速 USB を有効にする†



低速内部 USB デフォルトを
読み込む†



非通信モードを有効にする

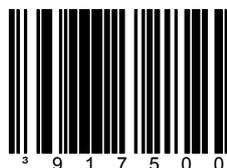


スキャナがホストデバイスと
つながっていない場合、この
機能を選択します。

予備



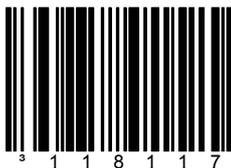
予備



セクション D

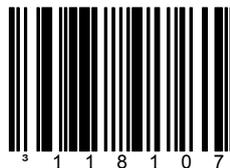
設定モードのオプション

電源オンで設定モードを許可する



スキャナは、バーコードをスキャンする前にのみ MetroSet[®]モードに入ります。

* 常時設定モードを許可する



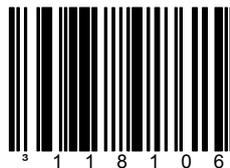
常時、MetroSet[®]設定を許可します。

電源オンで設定コードを許可する



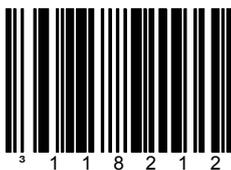
電源をオンにしてから製品のバーコードをスキャンすると、スキャナは設定バーコードのスキャンを受け付けません。

* 常時設定コードを許可する

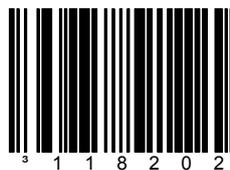


常時、設定バーコードのスキャンを許可します。

シングルコード設定を有効にする



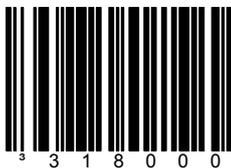
シングルコード設定を無効にする



セクション D

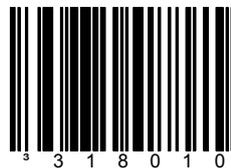
スキャンバッファ

* 1 スキャンバッファ



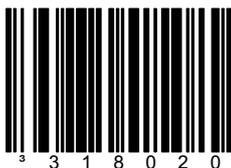
スキャナはスキャンフィールドのバーコードを 1 つスキャンし、同一シンボル・タイムアウトの時間内はそのバーコードがスキャンフィールドから除去されるまで再スキャンしません。

2 スキャンバッファ



スキャナはスキャンフィールドのバーコードを、一度に 1 つずつ、2 つスキャンします。その 2 つのバーコードは同一シンボル・タイムアウトの時間内はスキャンフィールドから除去されるまで再スキャンされません。

3 スキャンバッファ



2 スキャンバッファと同じ機能で、スキャンフィールドに 3 つのバーコードがある場合です。

4 スキャンバッファ

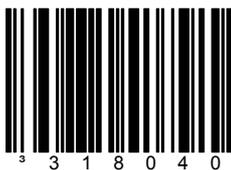


2 スキャンバッファと同じ機能で、スキャンフィールドに 4 つのバーコードがある場合です。

セクション D

スキャンバッファ

5 スキャンバッファ



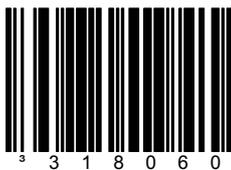
2 スキャンバッファと同じ機能で、スキャンフィールドに5つのバーコードがある場合です。

6 スキャンバッファ



2 スキャンバッファと同じ機能で、スキャンフィールドに6つのバーコードがある場合です。

7 スキャンバッファ



2 スキャンバッファと同じ機能で、スキャンフィールドに7つのバーコードがある場合です。

8 スキャンバッファ

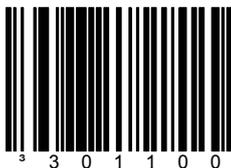


2 スキャンバッファと同じ機能で、スキャンフィールドに8つのバーコードがある場合です。

セクション D

読取一致回数

* 2 回一致読取無効



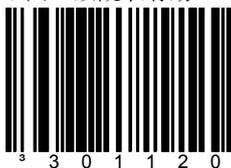
「スキャン成功」とみなすためには 1 回の有効なデコードが必要となります。

2 回一致読取有効



「スキャン成功」とみなすためには同一バーコードデータの 2 連続デコードが必要となります。

3 回一致読取有効



「スキャン成功」とみなすためには同一バーコードデータの 3 連続デコードが必要となります。

4 回一致読取有効



「スキャン成功」とみなすためには同一バーコードデータの 4 連続デコードが必要となります。

5 回一致読取有効



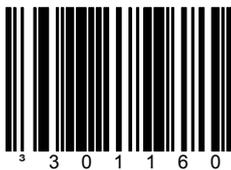
「スキャン成功」とみなすためには同一バーコードデータの 5 連続デコードが必要となります。

6 回一致読取有効



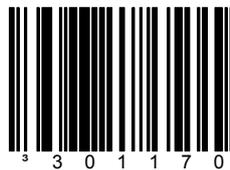
「スキャン成功」とみなすためには同一バーコードデータの 6 連続デコードが必要となります。

7 回一致読取有効



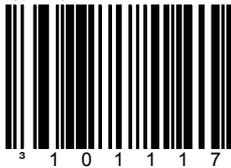
「スキャン成功」とみなすためには同一バーコードデータの 7 連続デコードが必要となります。

8 回一致読取有効



「スキャン成功」とみなすためには同一バーコードデータの 8 連続デコードが必要となります。

インスタ 2 回一致読取を有効にする



EAN-13 Sys2、UPCA Sys2、Sys4（ストア内印刷バーコード）の 2 回一致読取を有効にします。

* インスタ 2 回一致読取を無効にする

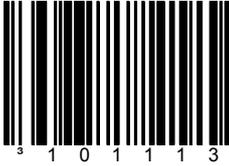


EAN-13 Sys2、UPCA Sys2、Sys4（ストア内印刷バーコード）の 2 回一致読取を無効にします。

セクション D

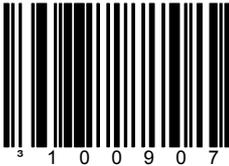
その他のデコード機能

- * 部分的な UPC のデコードを有効にする



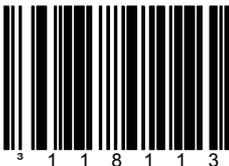
破損したバーコードや不完全なバーコードを判読するため部分的に UPC のデコードを有効にします。

- * インストアバーコードの部分を有効にする



EAN-13 Sys2、UPCA Sys2、Sys4 部分（ストア内印刷バーコード）を有効にします。

- 同一シンボルのチェック（オプション）



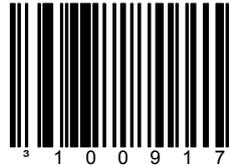
「新しい」バーコードとみなすためには、次のバーコードとの間に異なるキャラクタが1つ必要です。

- 部分的な UPC のデコードを無効にする



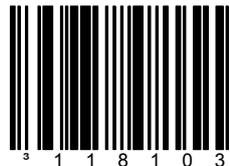
バーコードの読み取り状態が良好な場合にこの機能を無効にします。デコードの速度を上がり、全体的な読取精度も向上します。

- インストアバーコードの部分を無効にする



EAN-13 Sys2、UPCA Sys2、Sys4 部分（ストア内印刷バーコード）を無効にします。

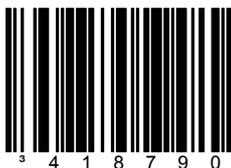
- * 同一シンボルのチェック（ノーマル）



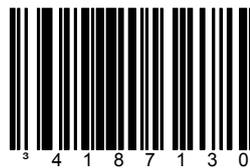
「新しい」バーコードとみなすためには、次のバーコードとの間に異なるキャラクタが3つ必要です。

i メトロロジックの担当者から指示のない限り、これらの設定を変更しないでください。

* 低密度のコードを最適化する †



高密度のコードを最適化する †



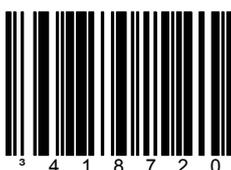
高密度コードに固定 †



中密度コードに固定 †



低密度コードに固定 †



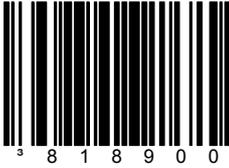
† オムニスキャナを使用する場合にのみ適用されます。

セクション D

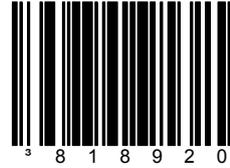
同一シンボル・タイムアウト

バーコードがスキャンフィールドから除去されてから再スキャンされるまでの時間の長さを決定します。シングルコードでは、タイムアウトなし、50、100、200、500、1200（1.2秒）、2000（2秒）ミリ秒の固定設定や無限の設定ができます。また、50ミリ秒単位で6350ミリ秒（6.35秒）までの範囲でユーザー設定することも可能です。

同一シンボル・タイムアウト
なし



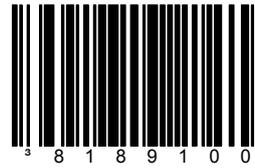
同一シンボル・タイムアウト
100ミリ秒



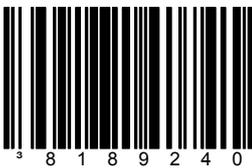
同一シンボル・タイムアウト
200ミリ秒



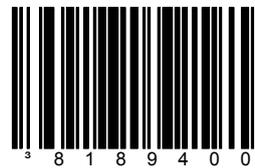
* 同一シンボル・タイムアウト
500ミリ秒



同一シンボル・タイムアウト
1200ミリ秒



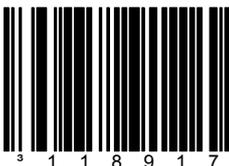
同一シンボル・タイムアウト
2000ミリ秒



セクション D

同一シンボル・タイムアウト

同一シンボル・タイムアウトが無限



スキャナは同じバーコードを繰り返してスキャンしません。



この機能はバーコードの再スキャン時のタイムアウトを無視しません。

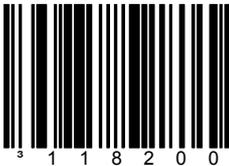
~ 可変の同一シンボル・タイムアウト



同一シンボル・タイムアウト時間を設定するには、viii ページのマルチコード方式にした上で、このバーコードとセクション M のコードバイトシーケンスをスキャンします。値の範囲は 001 から 127 までです。(50 から 6350 ミリ秒)

バーコードの不在

* バーコード不在の検知を有効にする †



† MS2000 Stratos シリーズは対応していません。

バーコード不在の検知を無効にする †



Stratos シリーズでバーコード不在の検知を有効にする



新しいバーコードを受け付けるため、50 ミリ秒の間スキャンフィールドにバーコードを提示しないでください。

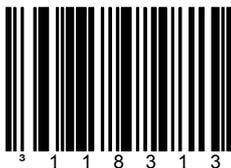
* Stratos シリーズでバーコード不在の検知を無効にする



セクション D

LED オプション

再スキャンが可能になると緑色の LED が点滅する

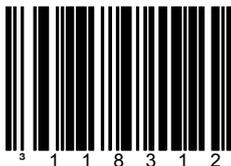


同一シンボル・タイムアウトが経過したことを示します。

* 再スキャンが可能になっても緑色の LED は点滅しない



LED 機能の逆表示



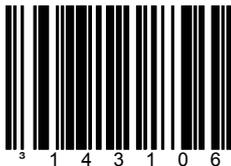
赤色=レーザーがオン
緑色=読み込み成功

* LED 機能の通常表示



緑色=レーザーがオン
赤色=読み込み成功

*3 番目の LED を有効にする

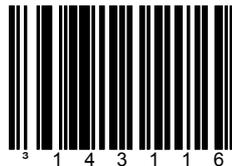


スキャナの 3 番目の LED オプションを有効にします。



この機能は機種によってはご利用いただけません。

3 番目の LED を無効にする



スキャナの 3 番目の LED オプションを無効にします。



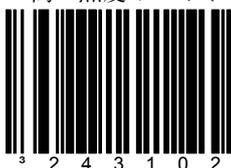
この機能は機種によってはご利用いただけません。

* 高い照度のレーザーLED



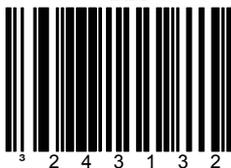
レーザーLED は高い照度または通常の照度です。

* 高い照度のスキャン LED



スキャン LED は高い照度または通常の照度です。

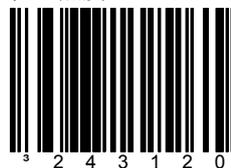
スキャン LED がオフ



バーコードスキャンがあってもスキャン LED は点灯しません。LED はそれ以外のすべての機能では点灯します。

 この機能は機種によってはご利用いただけません。

低い照度のレーザーLED



レーザーLED は低照度です。

 この機能は機種によってはご利用いただけません。

低い照度のスキャン LED



スキャン LED は低い照度です。

 この機能は機種によってはご利用いただけません。

レーザーLED がオフ



レーザーLED はレーザーオンの点灯を行いません。LED はそれ以外のすべての機能では点灯します。

 この機能は機種によってはご利用いただけません。

セクション D

ブザー音のオプション

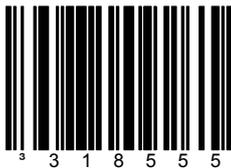
* 通常の音調



音調 1



音調 2



音調 3



音調 4



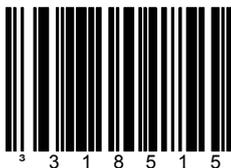
音調 5



セクション D

ブザー音のオプション

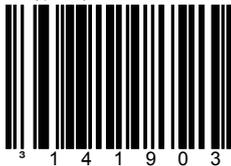
音調 6



ブザー音なし



* スキャン成功でブザーを有効にする



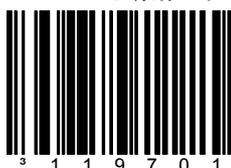
電源オンの場合、スキャン成功のブザー音を有効にします。

スキャン成功でブザーを無効にする



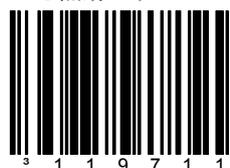
電源オンの場合、スキャン成功のブザー音を無効にします。

* ボタンでブザーのコントロールを有効にする



 この機能は機種によってはご利用いただけません。

ボタンでブザーのコントロールを無効にする

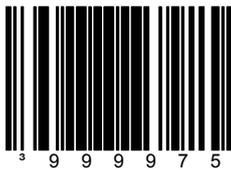


 この機能は機種によってはご利用いただけません。

セクション D

ブザー音のオプション

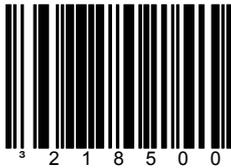
次の音調



次の音量



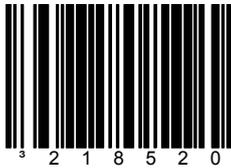
* 最大音量



2番目に大きい音量



3番目に大きい音量



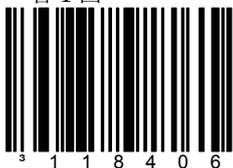
音量なし



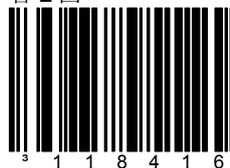
セクション D

ブザー音のオプション

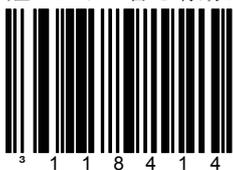
* サプリメントがあればブザー音 1 回



サプリメントがあればブザー音 2 回



短いブザー音を有効にする



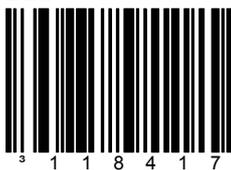
* 短いブザー音を無効にする



セクション D

ブザー音のオプション

BEL コマンドでブザー音発生

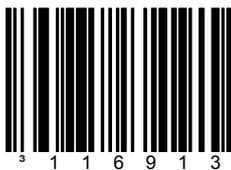


スキャナはホストから BEL キャラクターを受信するとブザーを鳴らします。BEL キャラクターの前 200 ミリ秒間に数字が送信されると、スキャナはその回数だけブザーを鳴らします。

* BEL コマンドを無視



ブザー音鳴動中、ライトペンの切り替えを有効にする



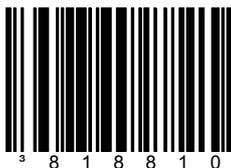
デコードが成功した場合、スキャナはブザーを鳴らし、ライトペン・データラインを切り替えます。これは読み込み成功を表します。

* ブザー音鳴動中、ライトペンの切り替えを無効にする

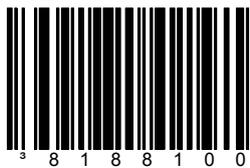


以下のコードにより、スキャナからホストへのデータキャラクタと「バーコード」の送信間に遅延時間を設定することができます。これは、スキャナのホスト入力バッファのオーバーフローを予防するのに役立ちます。

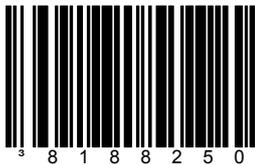
* 1 ミリ秒のキャラクタ間の遅延



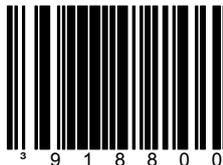
10 ミリ秒のキャラクタ間の遅延



25 ミリ秒のキャラクタ間の遅延



~ 可変ミリ秒のキャラクタ間遅延



このバーコードとセクション M のコードバイトのシーケンスをスキャンして、ホストシステムに送信するキャラクタ間の遅延を設定します。遅延範囲は 1 から 255 ミリ秒で設定可能です。viii ページのマルチコード設定方法を参照してください。

セクション D

キャラクタ間データ送信の遅延

キャラクタ間の遅延なし

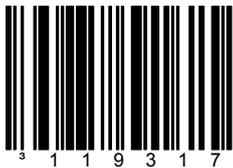


記録間データ送信の遅延

～ 可変記録間の遅延



記録間の遅延の間レーザーを
オフにする



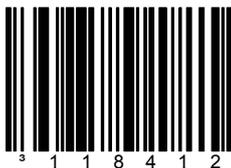
* 記録間の遅延の間レーザー
をオンにする



セクション D

通信タイムアウト・オプション

通信タイムアウトを有効にする



* 通信タイムアウトを無効にする

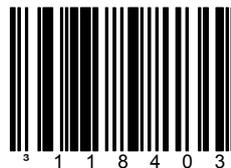


* 送信前にブザーを鳴らす



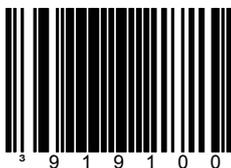
スキャナは各ラベルを送信する前にブザーを鳴らします。

送信後にブザーを鳴らす

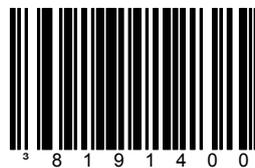


スキャナは各ラベルを送信した後にブザーを鳴らします。

~ 可変の通信タイムアウト



* デフォルトの通信タイムアウト (2秒)



セクション D

通信タイムアウト・オプション

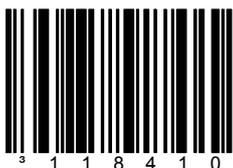
短い通信タイムアウト
(1秒)



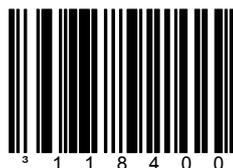
長い通信タイムアウト
(4秒)



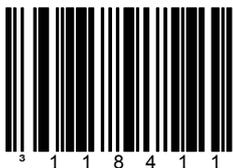
タイムアウト時にブザー3回



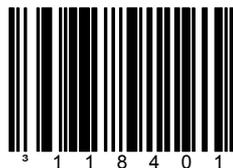
*タイムアウト時にブザーなし



タイムアウト時にエラー音を
鳴らす



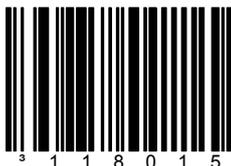
* タイムアウト時にエラー音なし



セクション D

ホストスキャナのコマンド

「D/E」無効コマンドを有効にする



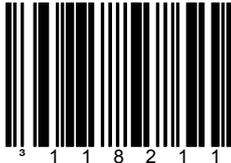
ホストデバイスから ASCII 「D」を受信するとスキャンが無効になります。ASCII 「E」を受信するとスキャンが有効になります。

* 「D/E」無効コマンドを無効にする



D/E コマンドを監視しません。

「Z/R」タイプの D/E シミュレーションを有効にする



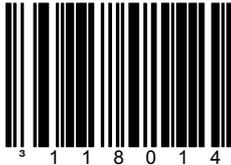
ホストデバイスから ASCII 「Z」を受信するとスキャンが無効になります。ASCII 「R」を受信するとスキャンが有効になります。

* 「Z/R」タイプの D/E シミュレーションなし



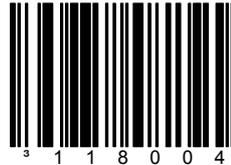
Z/R コマンドを監視しません。

「F/L」レーザーコマンドを有効にする



スキャナは ASCII 「F」キャラクターを受信するとレーザーを停止します。ASCII 「L」キャラクターを受信するとレーザーを作動させます。

* 「F/L」レーザーコマンドを無効にする



「F/L」コマンドを監視しません。

セクション D

ホストスキャナのコマンド

「M/O」コマンドを使って
モーターを「オン/オフ」に
する †



† オムニスキャナ使用
の場合のみ適用され
ます。

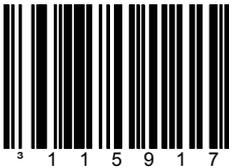
スキャナは ASCII 「O」 キャ
ラクターを受信するとモーター
を停止します。ASCII 「M」
キャラクターを受信するとモ
ーターを作動させます。 †

* 「M/O」コマンドを無効に
する

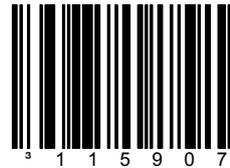


M/O コマンドを監視しませ
ん。

「I」コマンドを有効にする



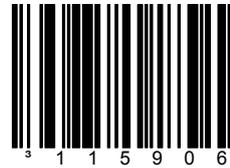
「I」コマンドを無効にする



「i」コマンドを有効にする



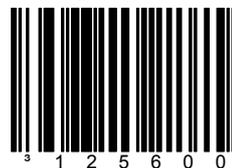
「i」コマンドを無効にする



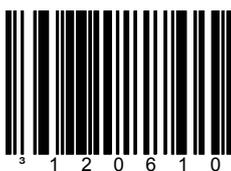
「S」コマンドを有効にする



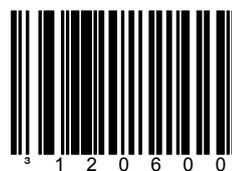
* 「S」コマンドを無効にする



「EM」コマンドを有効にする



* 「EM」コマンドを無効にする

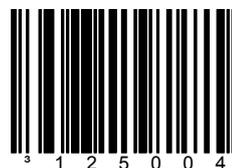


「EM」コマンドつまり End of Medium (ctrl Y) を有効にします。EM コマンドは ID スtringを送信し、スキャナのステータスは 2 バイトより大きくなります。

「SI/SO」コマンドを有効にする



「SI/SO」コマンドを無効にする



セクション D

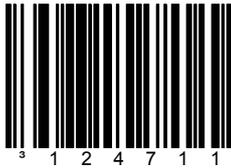
ホストスキャナのコマンド

DTR スキャン不可を使用する



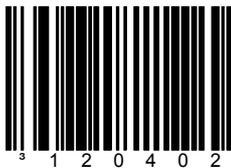
スキャナはスキャンを許可するかどうか決定するため DTR 入力を監視します。+12V「停止」レベルはデコードを有効にします。-12V「稼働」レベルはデコードを無効にします。

パススルーを有効にする



AUX スキャナはホストと同じボーレートに設定され、STX プレフィックス、Nixdorf ID キャラクタ、CR ターミナータが有効でなければなりません。

* 無効で LED が点滅



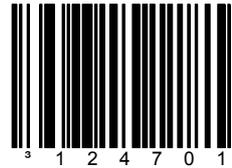
CTS スキャンが無効か、DTR が無効の場合、スキャナが無効になっていることを表すため LED を点滅します。
(シグナル = オフ)

* DTR スキャン不可を使用しない

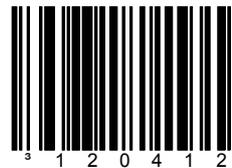


DTR 入力を監視しません。

パススルーを無効にする

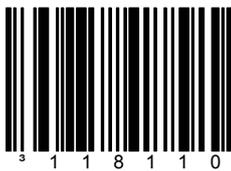


無効で LED の点滅なし



CTS スキャンが有効か、DTR が無効の場合、スキャナが無効になっていることを表すため LED を点滅しません。
(シグナル = オフ)

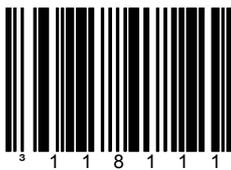
DC2 キャラクタで稼働する



* DC2 キャラクタで稼働しない



DC2 が稼働すると「NO READ」を送信する



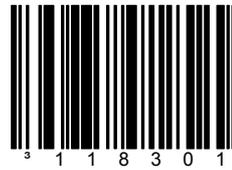
DC2 が稼働しても「NO READ」を送信しない



「NO READ」を送信中、緑色 LED を点灯しない



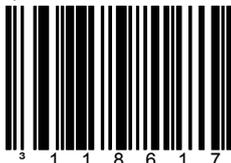
* 「NO READ」を送信中、緑色 LED を点灯する



セクション D

パワーセーブモード

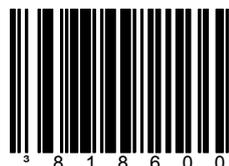
常時パワーセーブモードにする†



スキャナは起動後および各バーコードのスキャン終了後、すぐにパワーセーブモードになります。†

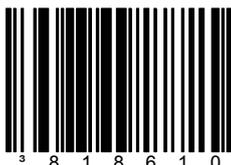
† オムニスキャナ使用の場合のみ適用されます。

パワーセーブモードなし†



スキャナはパワーセーブモードになりません。†

1分後にパワーセーブモード†



スキャナが 1 分間使用されない場合、パワーセーブモードになります。†

2分後にパワーセーブモード†



スキャナが 2 分間使用されない場合、パワーセーブモードになります。†

5分後にパワーセーブモード†



スキャナが 5 分間使用されない場合、パワーセーブモードになります。†

10分後にパワーセーブモード†

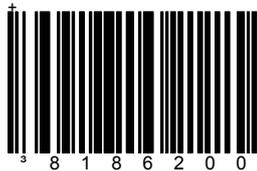


スキャナが 10 分間使用されない場合、パワーセーブモードになります。†

セクション D

パワーセーブモード

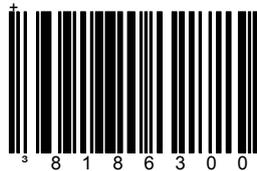
20 分後にパワーセーブモード



スキャナが 20 分間使用されない場合、パワーセーブモードになります。†

† オムニスキャナ使用の場合のみ適用されます。

30 分後にパワーセーブモード



スキャナが 30 分間使用されない場合、パワーセーブモードになります。†

デフォルトのパワーセーブモード††



 この機能は機種によってはご利用いただけません。

†† メトロロジックのスキャナには赤外線検知で物体の動きを検知すると自動的に起動してパワーセーブモードを停止する機種もあります。それ以外のスキャナはマルチファンクションボタンを押すと起動します。詳しくは、各製品の「取り付けおよびユーザーガイド」を参照してください。

パワーセーブモードで点滅††



設定された時間内に使用のない場合、レーザーはオン/オフを繰り返して点滅します。

スキャナがバーコードを検知すると点滅モードを終了します。

 この機能は機種によってはご利用いただけません。

セクション D

パワーセーブモード

レーザーオフ
パワーセーブモード^{††}

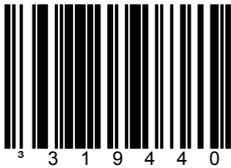


設定された時間内に使用のない場合、レーザーはオフになります。



この機能は機種によってはご利用いただけません。

デュアル#1
パワーセーブモード^{††}



レーザーは設定された時間内に使用のない場合、オン/オフを繰り返して点滅します。30分後にレーザーとモーターはオフになります。

例 1

パワーセーブタイムアウトが15分に設定されている場合のデュアル#1パワーセーブモードは以下の通りです。



この機能は機種によってはご利用いただけません。

レーザー・モーターオフ
パワーセーブモード^{††}



設定された時間内に使用のない場合、レーザーとモーターはオフになります。



この機能は機種によってはご利用いただけません。

^{††} メトロロジックのスキャナには赤外線検知で物体の動きを検知すると自動的に起動してパワーセーブモードを停止する機種もあります。それ以外のスキャナはマルチファンクションボタンを押すと起動します。詳しくは各製品の「取り付けおよびユーザーガイド」を参照してください。

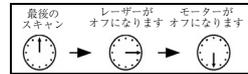
デュアル#2
パワーセーブモード^{††}



レーザーは設定された時間内に使用のない場合、オフになります。30分後にモーターはオフになります。

例 2

パワーセーブタイムアウトが15分に設定されている場合のデュアル#2パワーセーブモードは以下の通りです。



この機能は機種によってはご利用いただけません。

セクション D

パワーセーブモード

* パワーセーブスイッチを有効にする



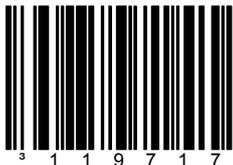
この機能は機種によってはご利用いただけません。

パワーセーブスイッチを無効にする



この機能は機種によってはご利用いただけません。

スイッチによる起動のみを有効にする



マルチファンクションボタンを押したときのみパワーセーブから起動します。

* 赤外線またはスイッチによる起動を有効にする



赤外線またはマルチファンクションボタンで起動します。

セクション D

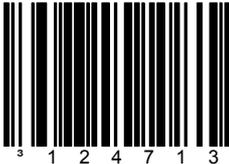
日本語のダブルフィールドへの対応

日本語のダブルフィールド（2段）バーコードに対応するには、スキャナが以下の設定になっていることを確認してください。

- 部分的な UPC のデコードを無効にします。
- 2 スキャンバッファを有効にします。
- バーコード不在の検知を無効にします。
- ノーマルコードの選択を有効にします。

次に、「Japan ダブルフィールドを有効にする」バーコードをスキャンしてください。

Japan ダブルフィールドを有効にする



* Japan ダブルフィールドを無効にする



その後、使用されるダブルフィールドシンボルに合ったバーコードを選択してください。ダブルフィールドモードでは UPC/EAN バーコードのみ許可されることにご留意ください。各バーコードにつき最低 2 つのキャラクタを選択してください。最大数は 4 つの上段バーコードおよび 4 つの下段バーコードです。

例

上段コードのペア 1 で最初の 2 つのキャラクタに 54 を選択する場合

1. 「上段コード 1 のキャラクタ 1」バーコードをスキャンします。
(D31 ページを参照)
2. 54 のキャラクタ 5 に適切なコードバイト値を決めます。(M6 ページから始まるセクション M の ASCII 参照表を参照)
 - a. コードバイト 0 をスキャンします。
 - b. コードバイト 5 をスキャンします。
 - c. コードバイト 3 をスキャンします。
3. 「上段コード 1 のキャラクタ 2」バーコードをスキャンします。
(D31 ページを参照)
4. 54 のキャラクタ 4 に適切なコードバイト値を決めます。
 - a. コードバイト 0 をスキャンします。
 - b. コードバイト 5 をスキャンします。
 - c. コードバイト 2 をスキャンします。

下段コードのペア 1 で最初の 2 つのキャラクタに 18 を選択する場合

1. 「下段コード 1 のキャラクタ 1」バーコードをスキャンします。
(D31 ページを参照)
2. 18 のキャラクタ 1 に適切なコードバイト値を決めます。(M6 ページから始まるセクション M の ASCII 参照表を参照)
 - a. コードバイト 0 をスキャンします。
 - b. コードバイト 4 をスキャンします。
 - c. コードバイト 9 をスキャンします。
3. 「下段コード 1 のキャラクタ 2」バーコードをスキャンします。
(D31 ページを参照)
4. 18 のキャラクタ 8 に適切なコードバイト値を決めます。(M6 ページから始まるセクション M の ASCII 参照表を参照)
 - a. コードバイト 0 をスキャンします。
 - b. コードバイト 5 をスキャンします。
 - c. コードバイト 6 をスキャンします。

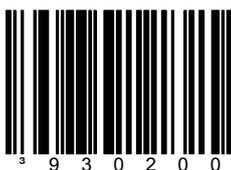
上段コード1のキャラクタ1



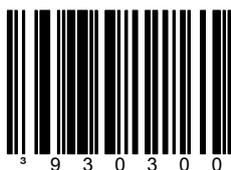
上段コード1のキャラクタ2



下段コード1のキャラクタ1



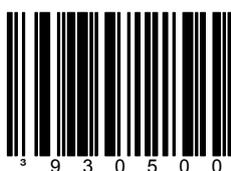
下段コード1のキャラクタ2



上段コード2のキャラクタ1



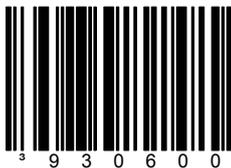
上段コード2のキャラクタ2



セクション D

日本語のダブルフィールドへの対応

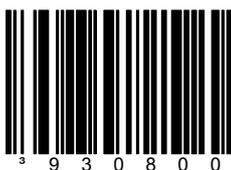
下段コード2のキャラクタ1



下段コード2のキャラクタ2



上段コード3のキャラクタ1



上段コード3のキャラクタ2



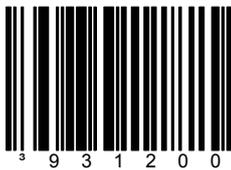
下段コード3のキャラクタ1



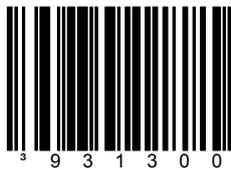
下段コード3のキャラクタ2



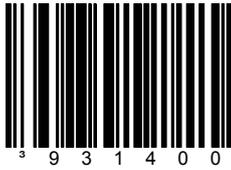
上段コード4のキャラクタ1



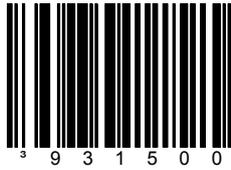
上段コード4のキャラクタ2



下段コード4のキャラクタ1



下段コード4のキャラクタ2



セクション D

日本語のダブルフィールドへの対応

日本語のトライアルタイム



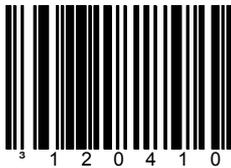
スペシャルコード選択モードの場合、上記バーコードに続き、希望するタイムアウト値を示すセクション M の 3 コードバイトをスキャンします。

1 は 100 ミリ秒に相当します。

例

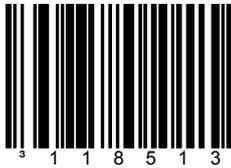
希望するタイムアウトが 500 ミリ秒の場合、上記コードに続いてコードバイト 0、コードバイト 0、コードバイト 5 をスキャンします。

トップコード選択を送信



すべてが見つからない場合、最も優先順位の高いコード選択を送信します。

エラー音を有効にする

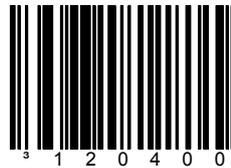


スペシャルコード選択に失敗した場合、エラー音を鳴らす機能を追加します。

コード選択を有効にする



* 全コード選択を送信

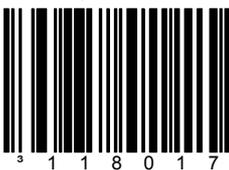


すべてのコード選択を送信します。

* エラー音を無効にする



スキャナビリティ・オン



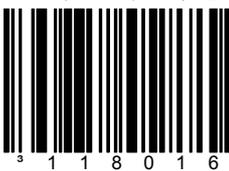
スキャナはスキャナの読取能力をテストするモードに入ります。

i メトロロジックの担当者に指示されない限り有効にしないでください。

* スキャナビリティ・オフ



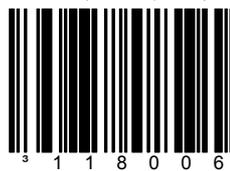
スキャンカウントモード・オン



スキャナはスキャンカウント・テストモードに入り、スキャナのファームウェアナンバーがホストに送信されます。

i メトロロジックの担当者に指示されない限り有効にしないでください。

* スキャンカウントモード・オフ



テンポラリーシンボル



「テンポラリーシンボル」テストコードはすべての主要なバーコードタイプを有効にするとともに、最小キャラクタ数要求を 1 に削減します。また、最小 ITF キャラクタ要求を 2 とし、送信時にプレフィックスとしてシンボル名前を加えます。この機能はスキャナのスイッチのオン／オフを繰り返すと無効になります。

i メトロロジックの担当者に指示されない限り有効にしないでください。

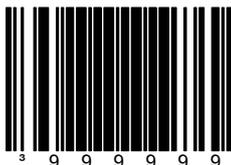
セクション E

設定可能なプレフィックス (全データ)

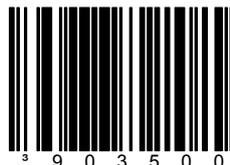


以下の機能を設定する前に「設定モード開始/終了」バーコードをスキャンしてください。また、viii ページのマルチコード方式を参照してください。

設定モード開始/終了

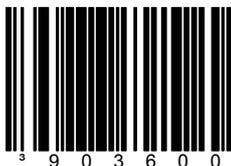


～ 設定可能なプレフィックス・キャラクター #1



1 つのプレフィックス ID をデータ送信時に追加してホストに送信します。このコードとともに、セクション M に記載されている、希望するキャラクターを表す 3 コードバイトシーケンスを使用してください。

～ 設定可能なプレフィックス・キャラクター #2



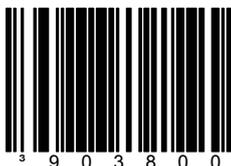
2 番目のプレフィックス・キャラクターを設定します。

～ 設定可能なプレフィックス・キャラクター #3



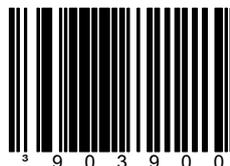
3 番目のプレフィックス・キャラクターを設定します。

～ 設定可能なプレフィックス・キャラクター #4



4 番目のプレフィックス・キャラクターを設定します。

～ 設定可能なプレフィックス・キャラクター #5

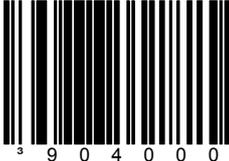


5 番目のプレフィックス・キャラクターを設定します。

セクション E

設定可能なプレフィックス (全データ)

~ 設定可能なプレフィックス・キャラクター #6



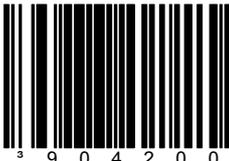
6 番目のプレフィックス・キャラクターを設定します。

~ 設定可能なプレフィックス・キャラクター #7



7 番目のプレフィックス・キャラクターを設定します。

~ 設定可能なプレフィックス・キャラクター #8



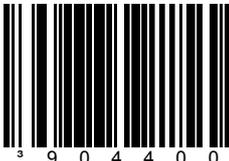
8 番目のプレフィックス・キャラクターを設定します。

~ 設定可能なプレフィックス・キャラクター #9

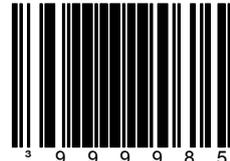


9 番目のプレフィックス・キャラクターを設定します。

~ 設定可能なプレフィックス・キャラクター #10



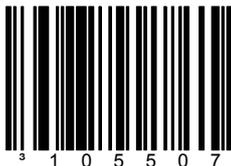
* 設定可能なプレフィックス・キャラクターをすべてクリアします。



セクション E

設定可能な ID キャラクタ (特定コード)

* 設定可能なコード ID バイトをプレフィックスとして使用する

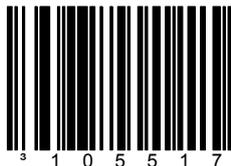


ユーザー設定可能な特定コード ID バイトがデータの前に送信されます。



プレフィックスが使われている場合、ユーザー設定可能なサフィックスは使用できません。

設定可能なコード ID バイトをサフィックスとして使用する



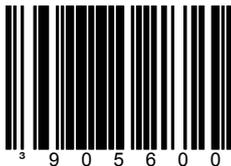
ユーザー設定可能な特定コード ID バイトがデータの後に送信されます。



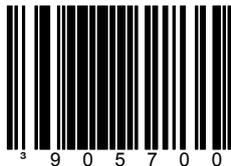
サフィックスが使われている場合、ユーザー設定可能なプレフィックスは使用できません。

ID キャラクタ

~ 設定可能な UPC-A ID †



~ 設定可能な UPC-E ID †

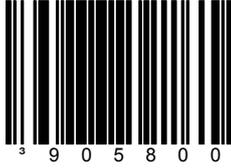


† マルチコード方式を使用する場合、このバーコードをスキャンし、続いてこのバーコードタイプに関連する固有の ID キャラクタを示す 3 コードバイトバーコード (セクション M に記載) をスキャンしてください。(viii ページのマルチコード方式を参照)

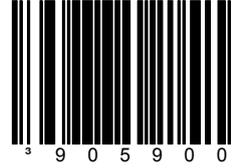
セクション E

設定可能な ID キャラクタ (特定コード)

~ 設定可能な EAN-8 ID †

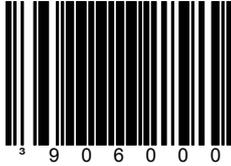


~ 設定可能な EAN-13 ID †

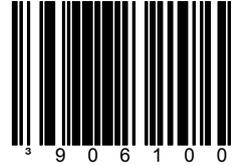


† マルチコード方式を使用する場合、このバーコードをスキャンし、続いてこのバーコードタイプに関連する固有の ID キャラクタを示す 3 コードバイトバーコード (セクション M に記載) をスキャンしてください。
(viii ページのマルチコード方式を参照)

~ 設定可能な Code 39 ID †



~ 設定可能な Code 128 ID †



~ 設定可能な Code 93 ID †



~ 設定可能な Code 11 ID †



† マルチコード方式を使用する場合、このバーコードをスキャンし、続いてこのバーコードタイプに関連する固有の ID キャラクタを示す 3 コードバイトバーコード (セクション M に記載) をスキャンしてください。
(viii ページのマルチコード方式を参照)

~ 設定可能な Telepen ID †



~ 設定可能な TRI-OPTIC ID †

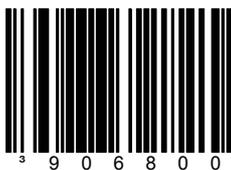


セクション E

設定可能な ID キャラクタ (特定コード)

~ 設定可能な Standard 2 of 5 ID[†]~ 設定可能な Interleaved 2 of 5 ID[†]

† マルチコード方式を使用する場合、このバーコードをスキャンし、続いてこのバーコードタイプに関連する固有の ID キャラクタを示す 3 コードバイトバーコード (セクション M に記載) をスキャンしてください。
(viii ページのマルチコード方式を参照)

~ 設定可能な Matrix 2 of 5 ID[†]~ 設定可能な Airline 2 of 5 ID[†]

セクション E

設定可能な ID キャラクタ (特定コード)

~ 設定可能な MSI Plessey ID[†]



~ 設定可能な UK Plessey ID[†]



† マルチコード方式を使用する場合、このバーコードをスキャンし、続いてこのバーコードタイプに関連する固有の ID キャラクタを示す 3 コードバイトバーコード (セクション M に記載) をスキャンしてください。(viii ページのマルチコード方式を参照)

~ 設定可能な Codabar ID[†]

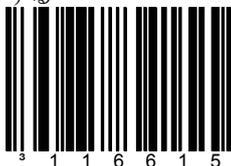


* 設定可能な特定コード ID をすべてクリアする[†]



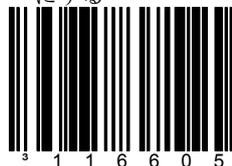
セクション E スタンダード・プレフィックス・キャラクタ

STX プレフィックスを有効にする



スキャナは各バーコードの前に **Start of TeXt** (ASCII 02H) を送信します。

* STX プレフィックスを無効にする



スキャナは各バーコードの前に **Start of TeXt** (ASCII 02H) を送信しません。

Rockford-Thompson モードを有効にする



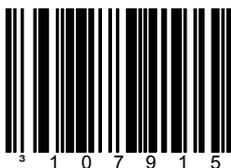
スキャナは AIM シンボル ID を送信します。

* Rockford-Thompson モードを無効にする



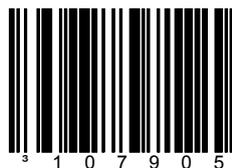
スキャナは AIM シンボル ID を送信しません。

AIM ID キャラクタを有効にする



 この機能は機種によってはご利用いただけません。

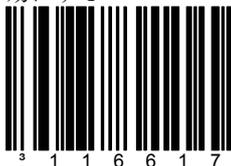
* AIM ID キャラクタを無効にする



セクション E

スタンダード・プレフィックス・キャラクタ

UPC プレフィックス ID を有効にする



このコードが有効の場合、スキャナは UPC/EAN バーコードの前にプレフィックスを送信します。

送信されるプレフィックスは以下の通りです。

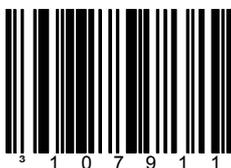
- A (UPC-A)
- E0 (UPC-E)
- F (EAN-13)
- FF (EAN-8)

* UPC プレフィックス ID を無効にする



スキャナは UPC/EAN バーコードの前にプレフィックスを送信しません。

NCR プレフィックス ID を有効にする



このコードが有効の場合、スキャナは以下のコードタイプの前にプレフィックスを送信します。送信されるプレフィックスは以下の通りです。

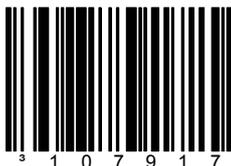
- A (UPC-A)
- E0 (UPC-E)
- FF (EAN-8)
- F (EAN-13)
- B1 (Code 39)
- B2 (ITF)
- B3 (Code 128 & その他コード)

* NCR プレフィックス ID を無効にする



セクション E スタンダード・プレフィックス・キャラクタ

Nixdorf ID キャラクタを有効にする



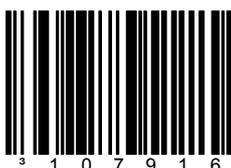
この機能では多くの Siemens/Nixdorf レジスター用の各バーコードの前にコード ID を送信します。

* Nixdorf ID キャラクタを無効にする



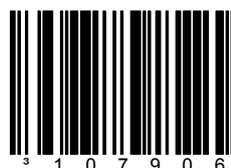
この機能では Siemens/Nixdorf のコード ID を送信しません。

SANYO ID キャラクタを有効にする



Sanyo ID キャラクタを送信します。

* SANYO ID キャラクタを無効にする

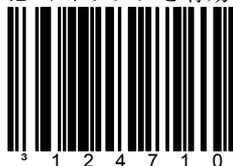


Sanyo ID キャラクタを送信しません。

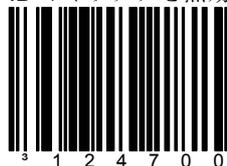
セクション E

スタンダード・プレフィックス・キャラクタ

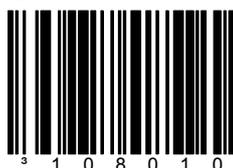
TEC レジスターフォーマット
IDキャラクタを有効にする



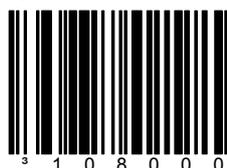
TEC レジスターフォーマット
IDキャラクタを無効にする



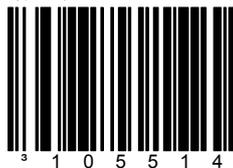
TEC MA1530 ID キャラクタ
を有効にする



TEC MA1530 ID キャラクタ
を無効にする



シンボルプレフィックスを有
効にする



この機能は送信されるバー
コードの前にシンボル記述を
加えます。

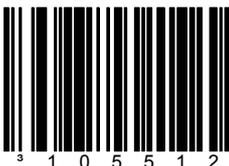
シンボルプレフィックスを無
効にする



送信されるバーコードの前に
シンボル記述を加えません。

セクション E スタANDARD・プレフィックス・キャラクタ

メーカーID プレフィックスを有効にする



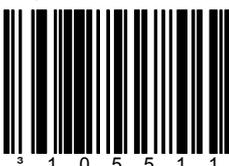
スキャナがメトロロジック製であることを示すため、すべてのバーコードデータの前に「METROLOGIC」を送信します。

* メーカーID プレフィックスを無効にする



スキャナはメーカーID ストリングを送信しません。

「C」プレフィックスを有効にする



* 「C」プレフィックスを無効にする



UPC/EAN の「\$」プレフィックス ID を有効にする



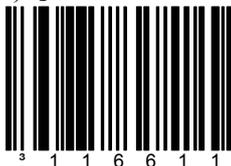
* UPC/EAN の「\$」プレフィックス ID を無効にする



セクション E

スタンダード・プレフィックス・キャラクタ

Tab プレフィックスを有効にする



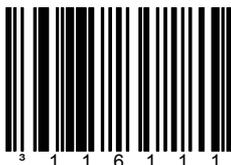
スキャナは各バーコードの前に TAB (ASCII 09H) を送信します。

* Tab プレフィックスを無効にする



スキャナは TAB を送信しません。

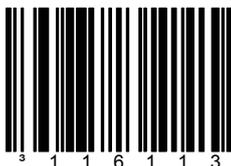
SNI Beetle モードを有効にする



* SNI Beetle モードを無効にする



Cipher 1021 ID を有効にする



* Cipher 1021 ID を無効にする



セクション E

スタンダード・サフィックス・キャラクタ

* CR サフィックスを有効にする



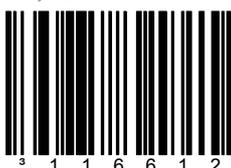
スキャナは各バーコードの後にキャリッジ・リターン (Carriage Return) を送信します。

CR サフィックスを無効にする



スキャナは各バーコードの後にキャリッジ・リターン (Carriage Return) を送信しません。

* LF サフィックスを有効にする



スキャナは各バーコードの後にラインフィード (Line Feed) を送信します。

LF サフィックスを無効にする

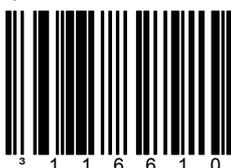


スキャナは各バーコードの後にラインフィード (Line Feed) を送信しません。



キーボードウェッジ・デフォルトが読み込まれている場合、この機能は無効になります。

Tab サフィックスを有効にする



スキャナは各バーコードの後に TAB (ASCII 09H) を送信します。

* Tab サフィックスを無効にする



スキャナは各バーコードの後に TAB (ASCII 09H) を送信しません。

セクション E

スタンダード・サフィックス・キャラクタ

ETX サフィックスを有効にする



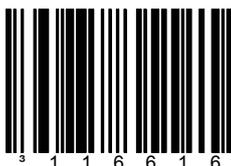
スキヤナは各バーコードデータの後に **End of TeXt** (ASCII 03H) を送信します。

* ETX サフィックスを無効にする



スキヤナは **End of TeXt** (ASCII 03H) を送信しません。

UPC サフィックス ID を有効にする



スキヤナは各 **UPC/EAN** バーコードの後にサフィックスを送信します。

送信されるサフィックスは以下の通りです。

- A (UPC-A)
- E (UPC-E)
- F (EAN-13)
- F (EAN-8)

* UPC サフィックス ID を無効にする



スキヤナは **UPC/EAN** バーコードの後にサフィックスを送信しません。

セクション E

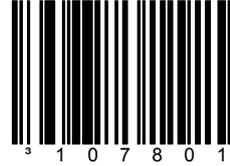
水平冗長検査 (LRC)

LRC 計算の送信を有効にする



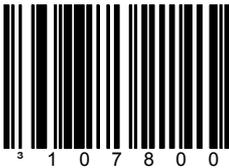
スキャナはバーコードの後に
LRC (チェックキャラクタ)
を出力します。

* LRC 計算の送信を無効に
する



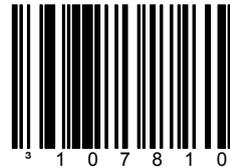
スキャナはバーコードの後に
LRC (チェックキャラクタ)
を出力しません。

* 最初のバイトから LRC を
開始する



スキャナは最初のキャラクタ
から LRC チェック・デジッ
トを計算します。

2 番目のバイトから LRC を開
始する



スキャナは 2 番目のキャラク
タから LRC チェック・デ
ジットを計算します。

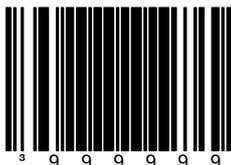
セクション E

設定可能なサフィックス (全データ)

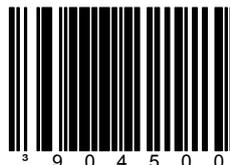


以下の機能を設定する前に「設定モード開始/終了」バーコードをスキャンしてください。viii ページのマルチコード方式を参照してください。

設定モード開始/終了



～ 設定可能なサフィックス
キャラクター #1



1つのサフィックス ID をデータ送信時に追加して送信します。このコードとともに、希望するキャラクターを表す 3 コードバイトシーケンス (セクション M に記載) を使用してください。

～ 設定可能なサフィックス
キャラクター #2



2 番目の設定可能なサフィックスキャラクターを設定します。

～ 設定可能なサフィックス
キャラクター #3

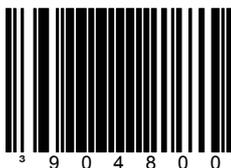


3 番目の設定可能なサフィックスキャラクターを設定します。

セクション E

設定可能なサフィックス (全データ)

~ 設定可能なサフィックス
キャラクター#4[†]



4 番目の設定可能な
サフィックスキャラクターを
設定します。

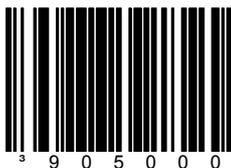
~ 設定可能なサフィックス
キャラクター#5[†]



5 番目の設定可能なサフィッ
クスキャラクターを設定しま
す。

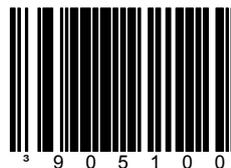
† マルチコード方式を使用する
場合、このバーコードをス
キャンし、続いて適切なキャ
ラクターを示す 3 コードバイ
ト・バーコード (セクション
M に記載) をスキャンしてく
ださい。(viii ページのマル
チコード方式を参照)

~ 設定可能なサフィックス
キャラクター#6[†]



6 番目の設定可能なサ
フィックスキャラクターを設
定します。

~ 設定可能なサフィックス
キャラクター#7[†]

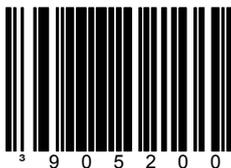


7 番目の設定可能なサフィッ
クスキャラクターを設定しま
す。

セクション E

設定可能なサフィックス (全データ)

~ 設定可能なサフィックス
キャラクター #8[†]



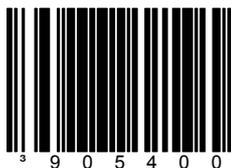
8 番目の設定可能なサフィックス
キャラクターを設定します。

~ 設定可能なサフィックス
キャラクター #9[†]



9 番目の設定可能なサフィックス
キャラクターを設定します。

~ 設定可能なサフィックス
キャラクター #10[†]



10 番目の設定可能なサフィックス
キャラクターを設定します。

† マルチコード方式を使用
する場合、このバー
コードをスキャンし、続いて
希望するキャラクターを示
す 3 コードバイトバー
コード (セクション M に
記載) をスキャンしてく
ださい。(viii ページのマ
ルチコード方式を参照)

* ユーザー設定可能なサ
フィックスをすべてクリア
する



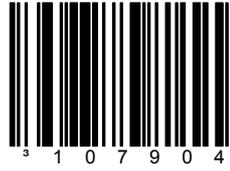
セクション E

特殊なフォーマット

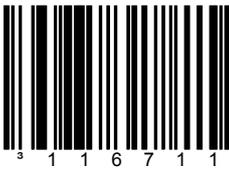
SINEKO モードを有効にする



* SINEKO モードを無効にする



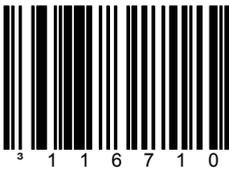
Newcode フォーマットモード
A を有効にする



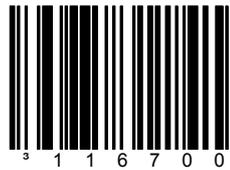
* Newcode フォーマットモード A
を無効にする



Newcode フォーマットモード
B を有効にする



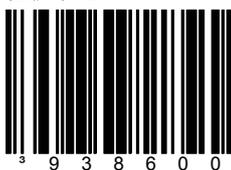
* Newcode フォーマットモード B
を無効にする



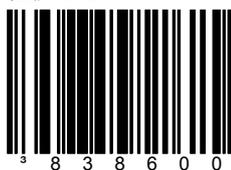
キャラクターの置換は以下の通りです。

1. 「設定モード開始／終了」バーコードをスキャンします。（このガイドの冒頭 xii ページを参照）
2. 「置換するキャラクター」をスキャンします。（下記を参照）
3. 置換するキャラクターの ASCII コードバイト値をスキャンします。（セクション M の ASCII 参照表を参照）
4. 「置換後のキャラクター」のバーコードをスキャンします。
5. 置換後のキャラクターの ASCII コードバイト値をスキャンします。
6. 「設定モード開始／終了」バーコードをスキャンします。（このガイドの冒頭 xii ページを参照）

置換するキャラクター



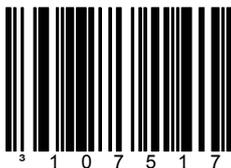
置換なし



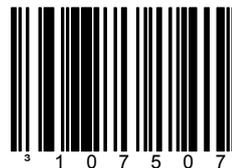
置換後のキャラクター



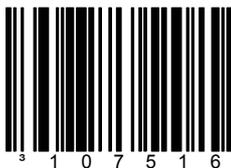
* UPC-A チェック・デジットを送信する



UPC-A チェック・デジットを送信しない



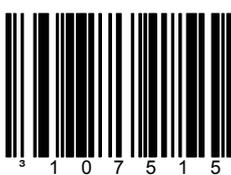
UPC-E チェック・デジットを送信する



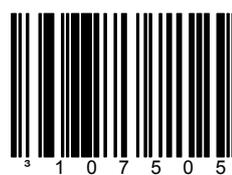
* UPC-E チェック・デジットを送信しない



UPC-E を 12 桁に拡張する



* UPC-E を 12 桁に拡張しない



UPC-E バーコードを 12 桁相当の UPC-A バーコードに拡張します。

UPC-E バーコードを 12 桁相当の UPC-A バーコードに拡張しません。

セクション F

UPC/EAN

UPC-A を EAN-13 に変換する



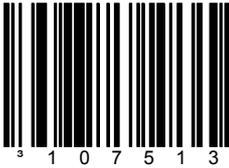
スキャナはバーコードの前に先頭「0」を送信して UPC-A を EAN-13 に変換します。

* UPC-A を EAN-13 に変換しない



スキャナは UPC-A を EAN-13 に変換しません。

UPC-E に先頭「0」を送信する



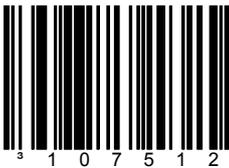
この機能は各 UPC-E バーコードの前に「0」を送信します。

UPC-E に先頭「0」を送信しない



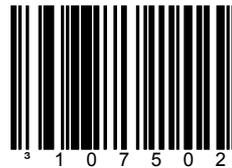
この機能は各 UPC-E バーコードの前に「0」を送信しません。

EAN-8 を EAN-13 に変換する



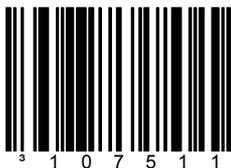
スキャナはバーコードの前に 5 つの「0」を送信して EAN-8 を EAN-13 に変換します。

* EAN-8 を EAN-13 に変換しない



スキャナは EAN-8 を EAN-13 に変換しません。

* UPC-A ナンバーシステムを送信する

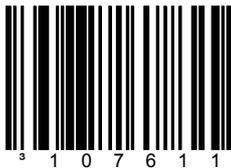


UPC-A ナンバーシステムを送信しない

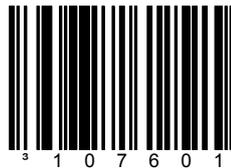


i メトロロジックはこの機能を使わないよう強くお勧めします。データベース内で数字が重複するおそれがあります。

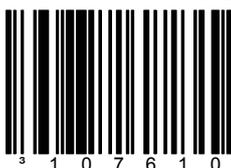
* UPC-A MFR #を送信する



UPC-A MFR #を送信しない



* UPC-A ITEM #を送信する



UPC-A ITEM #を送信しない



セクション F

UPC/EAN

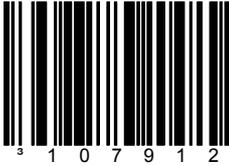
* EAN-8 チェック・デジット
を送信する



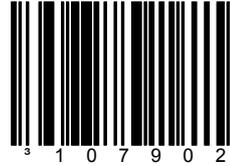
EAN-8 チェック・デジットを送
信しない



* EAN-13 チェック・デジット
を送信する



EAN-13 チェック・デジットを送
信しない



GTIN-14 フォーマット

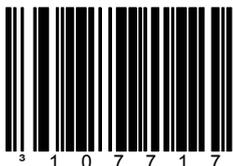


GTIN-14 フォーマットなし



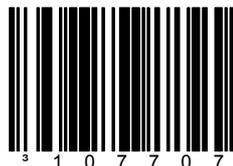
この機能は機種によっ
てはご利用いただけま
せん。

Codabar スタート/ストップ
 キャラクタを送信する



各バーコードの前後に Codabar
 スタート/ストップキャラクタ
 を送信します。

* Codabar スタート/ストップ
 キャラクタを送信しない



各バーコードの前後に Codabar
 スタート/ストップキャラクタ
 を送信しません。

Codabar スタート/ストップ
 キャラクタを小文字に変換する



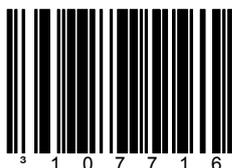
* Codabar スタート/ストップ
 キャラクタを小文字に変換し
 ない



セクション F

Codabar

CLSI 編集を有効にする

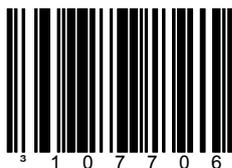


情報をホストに送信する前に CLSI タイプの編集を行います。



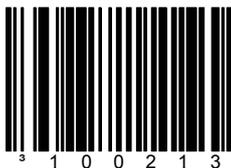
この機能は 14 桁の Codabar タイプでのみ稼働します。

* CLSI 編集を有効にしない



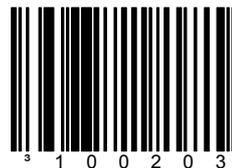
この機能では情報をホストに送信する前に CLSI タイプの編集を行いません。

Code 39 で MOD 43 チェック
を有効にする



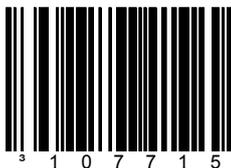
スキャナは有効な Modulo 43
チェック・デジットのある
Code 39 バーコードのみス
キャンします。

* Code 39 で MOD 43 チェック
を無効にする



スキャナは Modulo 43 チェッ
ク・デジットについて Code 39
バーコードをテストしません。

Code 39 で Mod 43 チェッ
ク・デジットを送信する



この機能は「Code 39 で
MOD 43 チェックを有効にする」と関係しているため、稼働させるにはどちらも有効にしなければなりません。

* Code 39 で Mod 43 チェック・
デジットを送信しない



この機能は Code 39 の Mod 43
チェックキャラクタを送信しま
せん。

セクション F

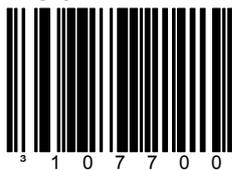
Code 39

Code 39 のスタート/ストップキャラクタを送信する



各バーコードの前後に Code 39 スタート/ストップキャラクタを送信します。

* Code 39 のスタート/ストップキャラクタを送信しない

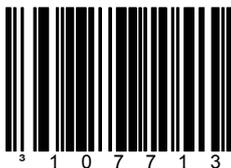


各バーコードの前後に Code 39 スタート/ストップキャラクタを送信しません。

セクション F

Code 11 および Telepen

Code 11 チェック・デジット
を送信する



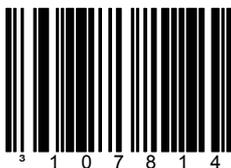
セクション A の「Code 11 を有効にする」と合わせて使用した場合、スキャナは Code 11 のチェックキャラクタを送信します。

* Code 11 チェック・デジット
を送信しない

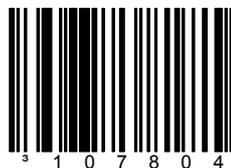


スキャナは Code 11 のチェック
キャラクタを送信しません。

Telepen ^L から E の変換を有
効にする



* Telepen ^L から E の変換を無
効にする



セクション F

Plessey

UK Plessey チェック・デジットを送信する



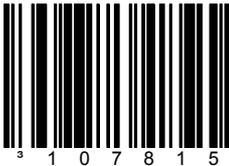
セクション A の「UK Plessey を有効にする」と合わせて使用した場合、スキヤナは UK Plessey のチェック・デジットを送信します。

* UK Plessey チェック・デジットを送信しない

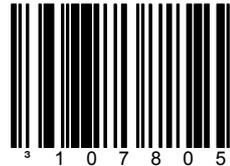


UK Plessey のチェック・デジットを送信しません。

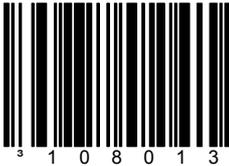
UK Plessey 特殊フォーマットを有効にする



UK Plessey 特殊フォーマットを無効にする



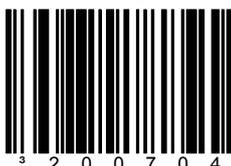
不適切な UK Plessey ストップキャラクタを処理する



* ノーマル UK Plessey ストップキャラクタを処理する

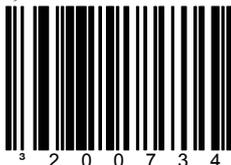


* MSI Plessey チェック・デジ
ジットなし



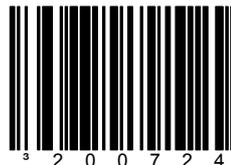
スキャナはチェック・デジ
ットについて MSI Plessey バー
コードをテストしません。

MSI Plessey MOD 10/10
チェック・デジットを有効に
する



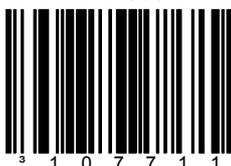
スキャナは 2 桁の Modulo 10
チェック・デジットについて
MSI Plessey バーコードをテ
ストします。

* MSI Plessey MOD 10 チェッ
ク・デジットを有効にする



スキャナは 1 桁の Modulo 10
チェック・デジットについて
MSI Plessey バーコードをテスト
します。

MSI Plessey チェック・デ
ジットを送信する



この機能は「有効な MSI
Plessey モード」オプション
のうち 1 つまたは両方と併用
して機能します。

* MSI Plessey チェック・デジ
ットを送信しない



スキャナは MSI Plessey チェッ
ク・デジットを送信しません。

セクション F

2 of 5

ITF で Mod 10 チェックを有効にする



スキャナは Modulo 10 チェック・デジットのある Interleaved 2 of 5 (ITF) バーコードのみスキャンします。

* ITF で Mod 10 チェックを無効にする



スキャナは Modulo 10 チェック・デジットについて Interleaved 2 of 5 (ITF) バーコードをテストしません。

ITF で Mod 10 チェック・デジットを送信する



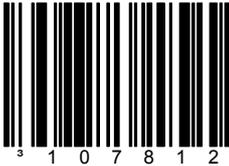
スキャナは Interleaved 2 of 5 (ITF) の Mod 10 チェック・デジットを送信します。

* ITF で Mod 10 チェック・デジットを送信しない

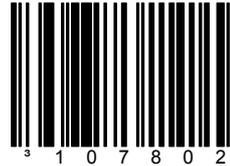


スキャナは Interleaved 2 of 5 (ITF) の Mod 10 チェック・デジットを送信しません。この機能は「ITF で Mod 10 チェック」と関連しているため、稼働させる場合には両方とも有効にしてください。

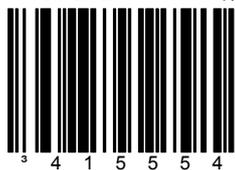
Matrix 2 of 5 チェック・デジットを送信する



* Matrix 2 of 5 チェック・デジットを送信しない



* RS-232 モードを有効にする



このコードが有効の場合、スキャナは RS232 +/-12V シリアル出力となります。

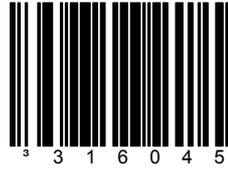
セクション G

パリティの機能



パリティビットはデータ送信エラーの発見を容易にする追加データビットです。スキャナのパリティはホストのパリティと一致しなければなりません。

パリティなし

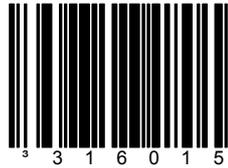


奇数パリティ



ビットの 1 の数を奇数個にするため、パリティビットの設定を 1 または 0 のどちらかに選択します。

* 空白パリティ



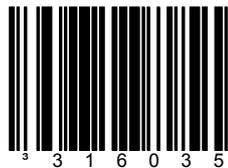
常にパリティビット 0 を選択します。

偶数パリティ



ビットの 1 の数を偶数個にするため、パリティビットの設定を 1 または 0 のどちらかに選択します。

マークパリティ

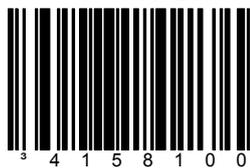


常にパリティビット 1 を選択します。



「ボー」または「ボーレート」はデータが通信される速度です。ホストデバイスと一致するボーレートをスキヤナでも選択してください。

ボーレート 115200



ボーレート 57600



ボーレート 38400



ボーレート 19200



ボーレート 14400



セクション G

ボーレート

* ボーレート 9600



ボーレート 4800



ボーレート 2400



ボーレート 1200



ボーレート 600



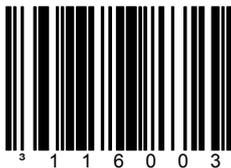
ボーレート 300



セクション G

データ/ストップビット

* 7データビット

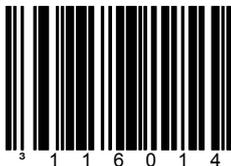


各キャラクターが送信される
データビットの数を示しま
す。

8データビット



1ストップビット



* 2ストップビット



セクション G

ハードウェアのハンドシェーク

RTS/CTS ハンドシェークを有効にする



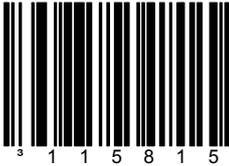
Request To Send (RTS) シグナルを出力して Clear To Send (CTS) シグナルを待機してからデータを送信します。

* RTS/CTS ハンドシェークを無効にする



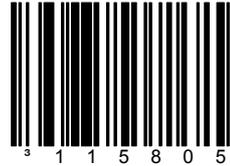
RTS/CTS ハンドシェークを使用しません。

* キャラクタ RTS/CTS



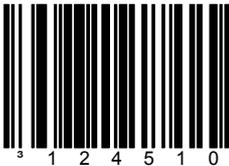
各キャラクターの RTS シグナルを稼働/停止します。

メッセージ RTS/CTS



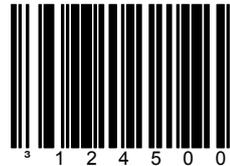
最初のキャラクターを送信する前に RTS を稼働し、最後のキャラクターの送信が完了するまで稼働状態を維持します。

RTS ポラリティを反転する (RSV1)



+12V = 停止
-12V = 稼働

* スタンダード RTS ポラリティ



スタンダード RTS ポラリティを使用します。
-12V = 停止
+12V = 稼働

CTS ポラリティを反転する (RSV2)



+12V = 停止、送信しない

-12V = 稼働、送信 OK

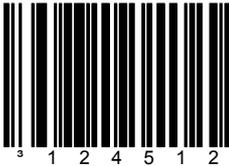
* スタンダード CTS ポラリティ



-12V = 停止、送信しない

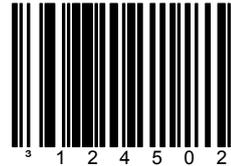
+12V = 稼働、送信 OK

RTS を稼働、CTS を待機しない (RSV3)



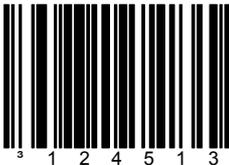
送信のため RTS を稼働しますが、CTS の送信を待機しません。

* RTS を稼働、CTS を待機する



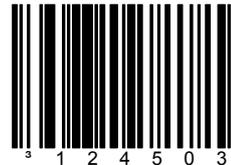
RTS を稼働し、CTS を待機します。

RTS の前に CTS Not Present をテストする (RSV4)



CTS が既に稼働している場合、RTS を稼働しません。

* RTS の前に CTS Present をテストしない

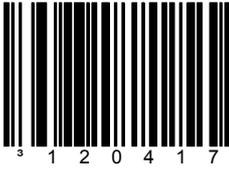


CTS が稼働している場合、テストせずに RTS を稼働します。

セクション G

ハードウェアのハンドシェーク

CTS スキャンを送信する

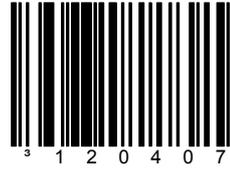


デコードされたバーコードの送信に CTS ラインを使用します。予備コード 4 を使用して CTS ごとに 1 つのバーコードとします。これは、CTS シグナルが停止されるまでスキャナがデータを読み込むのを防ぎます。



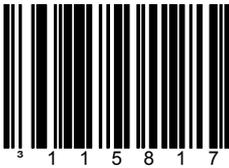
この機能は機種によってはご利用いただけません。

* CTS スキャンを送信しない



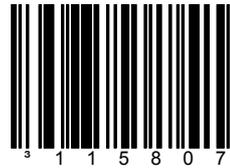
CTS スキャン送信に対応しません。

DTR 対応を有効にする



スキャナは Data Terminal Ready (DTR) シグナルが停止するとスキャンを停止します。

* DTR 対応を無効にする

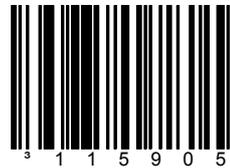


RTS カウンター切り替えを有効にする



スキャナはデコードが成功すると RTS ラインに切り替えます。

* RTS カウンター切り替えを無効にする



XON/XOFF ハンドシェークを有効にする



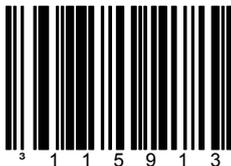
XOFF (ASCII 13H) を受信するとスキヤナは送信を停止します。XON (ASCII 11H) を受信後、送信は再開されます。

* XON/XOFF ハンドシェークを無効にする



スキヤナは XON/XOFF のテストを行いません。

ACK/NAK を有効にする



データ送信後、ホストからの ACK (06H) または NAK (15H) 応答を待機します。

ACK を受信すると、通信サイクルを完了してさらにバーコードを受け付けます。

NAK を受信すると、バーコードデータの最終セットを再送信し、再び ACK/NAK を待機します。

* ACK/NAK を無効にする

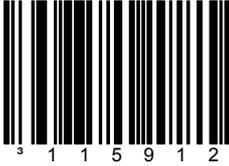


ACK/NAK のハンドシェークに対応しません。

セクション G

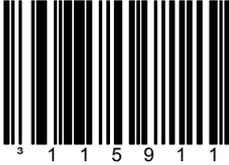
ソフトウェアのハンドシェーク

O/N ハンドシェークを有効にする



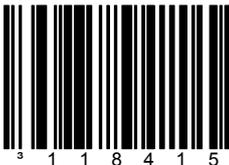
この機能を稼働させるには、ACK/NAK ハンドシェーク (ページ G 9) を有効にしてください。

ACK/NAK の BEL/CAN をサポートする



BEL (07H) を受信すると、スキャナは 3 回ブザーを鳴らし、通信ループから退出します。CAN (18H) を受信すると、スキャナは無音で通信ループから退出します。

エラー音コマンドを有効にする



「z」を受信すると、スキャナはエラー音を 1 回鳴らします。「z」の前のキャラクターが数字でかつ 1 秒以内に「z」が送信されたときはエラー音を複数回鳴らします。



この機能を使用するには、ノーマルの BEL コマンドが稼働していなければなりません。

O/N ハンドシェークを無効にする



* ACK/NAK で BEL/CAN を無視する



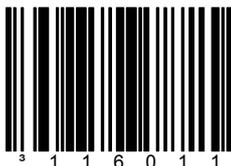
通信ループで BEL/CAN キャラクターを無視します。

エラー音コマンドを無効にする



通信ループの中の「z」キャラクターを無視します。

XON/XOFF スキャン禁止オンを有効にする



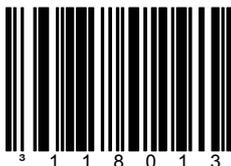
 この機能は機種によってはご利用いただけません。

* XON/XOFF スキャン禁止オンを無効にする



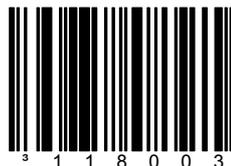
 この機能は機種によってはご利用いただけません。

ACK/NAK タイムアウトで 5 回の再試行を有効にする



通信ループから退出する前に、データの NAK 再送信を 5 回まで許可します。

* ACK/NAK タイムアウトで 5 回の再試行を無効にする



NAK 再送信を 5 回に制限しません。

5 回の NAK 再試行を有効にする



5 回の NAK 再試行を無効にする



セクション G

その他

フランス語 PC 用語を有効にする



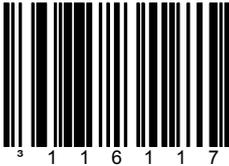
スキヤナは ASCII データキャラクターの代わりに PC タイプの **make/break** スキャンコードを送信します。スキャンコードは WYSE フランス語 PC 端末エミュレーションに合致しています。

* フランス語 PC 用語を無効にする



フランス語 PC 用語モードで送信しません。

USA Wyse PC を有効にする



USA Wyse PC 形式のキーボードの PC 用語モードを有効にします。

USA Wyse PC を無効にする

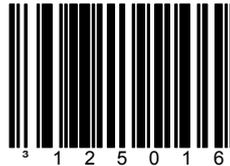


USA Wyse PC 形式のキーボードの PC 用語モードを無効にします。

* データ受信を有効にする



データ受信を無効にする

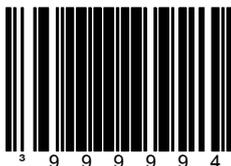


5 秒後に受信ポートを無効にします。

セクション H

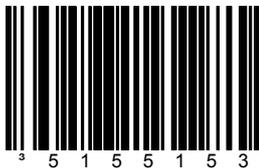
キーボード・エミュレーションを有効にする

キーボードウェッジ・デフォルトを読み込む



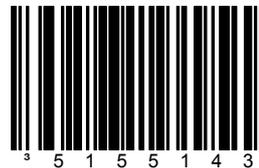
キーボードウェッジ・モードのデフォルト設定を読み込みます。

スタンドアロン・キーボード・エミュレーションを有効にする



外部キーボードに連結していない特殊なスタンドアロンの機種に使用します。スタンドアロンモードが有効の場合、スキャナはキーボード「電源オン」の情報を送信し、常時キーボード接続とみなすようハードウェアを設定します。

* キーボードウェッジ・エミュレーションを有効にする



外部キーボードとともに使用します。バーコードデータがない場合に標準 PC キーボードによる通信を許可するため、ウェッジモードで送信します。

セクション H

各国／スキャンコード表選択

* 米国キーボード



米国仕様キーボードを有効にします。

スイスキーボード



スイス仕様キーボードを有効にします。

スペインキーボード



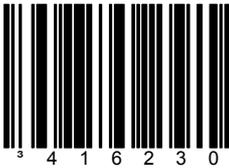
スペイン仕様キーボードを有効にします。

イタリアキーボード



イタリア仕様キーボードを有効にします。

ドイツキーボード



ドイツ仕様キーボードを有効にします。

フランスキーボード



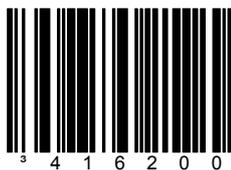
フランス仕様キーボードを有効にします。

英国キーボード



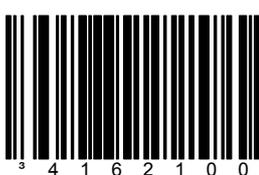
英国仕様キーボードを有効に
します。

ベルギーキーボード



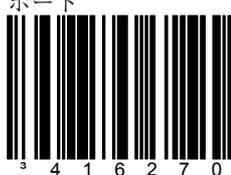
ベルギー仕様キーボードを有効
にします。

日本キーボード



日本仕様キーボードを有効に
します。

IBM 4700 ファイナンシャルキー
ボード



IBM 4700 ファイナンシャル仕様
キーボードを有効にします。

スウェーデン／フィンランド
キーボード

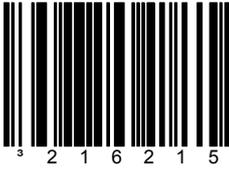


スウェーデン／フィンランド
仕様キーボードを有効にしま
す。

セクション H

キーボード/システムタイプ

* AT キーボード



AT コンピュータ (IBM PS/2 および互換機種 50、55、60、80 を含む) を使用している場合、上記バーコードをスキャンします。

XT キーボード



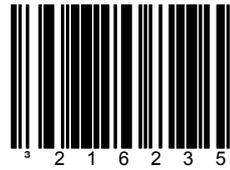
XT コンピュータを使用している場合、上記バーコードをスキャンします。

PS/2 キーボード



PS/2 コンピュータ (IBM PC および互換機種 30、70、8556 を含む) を使用している場合、上記コードをスキャンします。

端末 KB エミュレーション



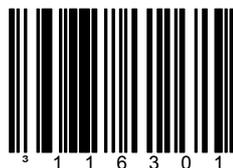
端末キーボード・エミュレーションモードを有効にするには上記コードをスキャンします。

Make コードのみ送信する



i メトロロジックの担当者に指示されない限りスキャンしないでください。

* Make/Break コードを送信する



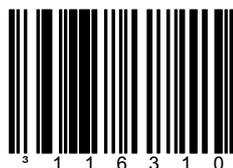
i メトロロジックの担当者に指示されない限りスキャンしないでください。

F0H Break コードを送信しない



スキャナは break コードのシーケンスで F0H を送信しません。

* F0H Break コードを送信する



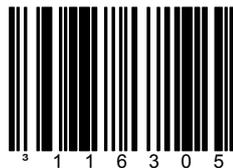
スキャナは break コードのシーケンスで F0H を送信します。

クリーンアップ・ビットを送信する



特定の NEC 製コンピュータに使用します。

* クリーンアップ・ビットを送信しない



セクション H

特殊キーボード機能

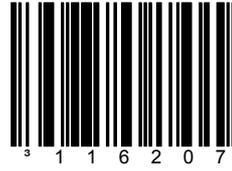
Alt モードを有効にする



スキャナは次のキーボードシーケンスを繰り返します。

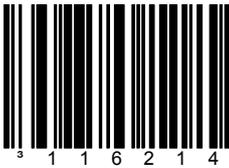
「Alt キーを押し、任意のキャラクターに対応する 10 進数をタイプします」

* Alt モードを無効にする



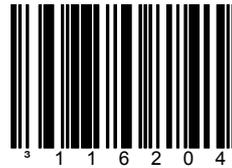
注意：ホストのソフトウェアアプリケーションが右 Alt キーを「ホット」キーとして使用している場合、Alt モードは無効にしてください。

自動検知モード (AT/PS2) を有効にする



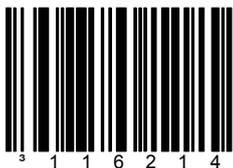
Caps Lock の状態を自動的に検知します。

* 自動検知モード (AT/PS2) を無効にする

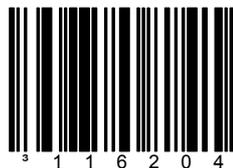


Caps Lock の自動検知機能に対応しません。

Caps Lock を有効にする (XT)

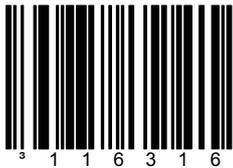


* Caps Lock を無効にする (XT)



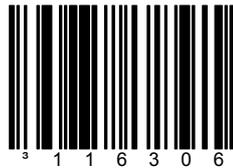
Caps Lock 機能に対応しません。

キーボードデータとして数字を送信する

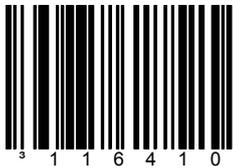


すべてのデータはキーボードで入力されたものとみなして送信されます。

* ノーマルデータとして数字を送信する



予備の機能を有効にする



* 予備の機能を無効にする



セクション H

特殊キーボード機能

* 拡張キーコードを送信する際に拡張 ASCII を使用する



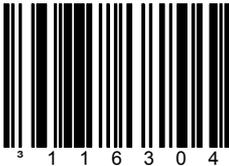
F1、F2 などの PC キーボード・キーの送信に拡張 ASCII キャラクタを使用します。詳細はセクション M を参照してください。

拡張 ASCII として拡張 ASCII キャラクタを使用する

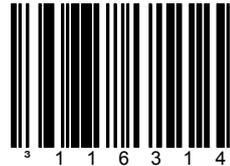


Alt モード経由で拡張 ASCII コードを送信します。

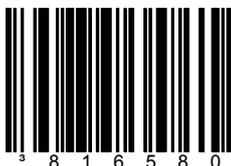
* キャラクタ KB 禁止



メッセージ KB 禁止



インタースキャン・コード遅延
800 マイクロ秒

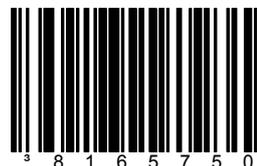


指定された時間は個々の 9 ビットのスキャンコードの間隔を表します。



特定の PC キーボード BIOS を操作する場合、このパラメータを調整する必要があります。

インタースキャン・コード遅延
7.5 ミリ秒

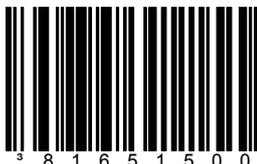


指定された時間は個々の 9 ビットのスキャンコードの間隔を表します。



特定の PC キーボード BIOS を操作する場合、このパラメータを調整する必要があります。

インタースキャン・コード遅延
15 ミリ秒



指定された時間は個々の 9 ビットのスキャンコードの間隔を表します。



特定の PC キーボード BIOS を操作する場合、このパラメータを調整する必要があります。

~ 可変インタースキャン・コード遅延ミリ秒



viii ページのマルチコード設定方式を参照してください。

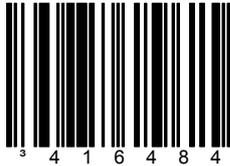
セクション H

コントロールセット

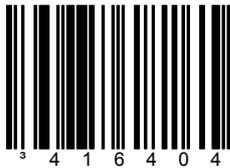
通常、一般的なバーコードシンボルは ASCII キャラクタセットのみエンコードします。IBM 互換キーボードでは、ファンクションキー、矢印キー、その他多くの拡張キーは ASCII キャラクタに変換されません。拡張キーをバーコード化する方法の 1 つとして、特定の ASCII コントロールキャラクタがバーコードのストリームにある場合、拡張キーコードを代用して使う方法があります。コントロールセットは ASCII (HEX) セットの特異な変換となります。

コントロールセット #1

コントロールセット#1 を有効にする



コントロールセット#1 を無効にする

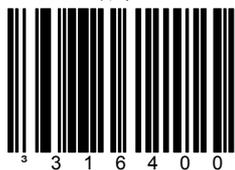


ASCII (HEX)	ASCII コントロール	拡張キー
00H	Null	数字キーパッド
01H	SOH	Num Lock
02H	STX	下向き矢印
03H	ETX	数字キーパッド
04H	EOT	Insert
05H	ENQ	Delete
06H	ACK	システムリクエスト
07H	BEL	← (左矢印)
08H	BS	→ (右矢印)
09H	TAB	Tab
0AH	LF	Caps Lock
0BH	VT	Shift Tab
0CH	FF	Alt
0DH	CR	Enter
0EH	SO	Control
0FH	SI	上向き矢印
10H	DLE	F1
11H	DC1	F2
12H	DC2	F3
13H	DC3	F4
14H	DC4	F5
15H	NAK	F6
16H	SYN	F7
17H	ETB	F8
18H	CAN	F9
19H	EM	F10
1AH	SUB	Home
1BH	ESC	Esc
1CH	FS	Page Up
1DH	GS	Page Down
1EH	RS	Print Screen
1FH	US	End

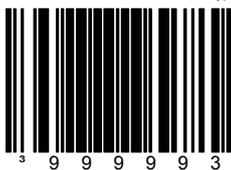
セクション H

3151 端末キーボード

* 3151 端末キーボード



OCIA デフォルトを読み込む



OCIA を有効にする

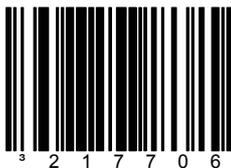


通信要件が OCIA（光結合インターフェース）の場合、この機能を選択します。

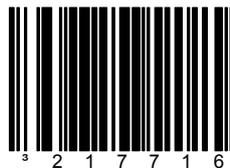


ホストはこのシリアルインターフェースを記録します。

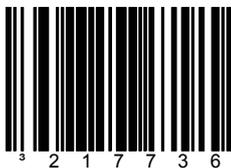
DTS/Siemens を有効にする



* DTS/Nixdorf を有効にする



NCR-S を有効にする



NCR-F を有効にする

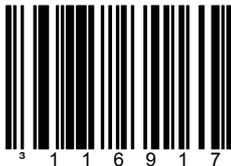


ライトペンモードを有効にする



スキャナがライトペンの代わりに使用される場合、この機能を選択します。スキャンされた各バーコードにライトペンエミュレーションを行います。

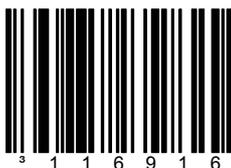
* 高いバー



高いスペース

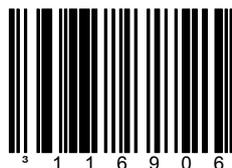


Code 39 を送信する



すべてのバーコードはデコードされ、Code 39 のバーコードとして送信されます。

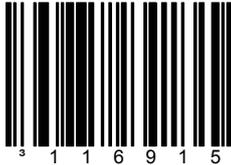
* スキャンされたままで送信する



すべてのバーコードはデコードされ、そのままのシンボルで送信されます。

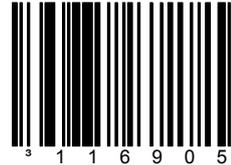
セクション J ライトペン/細エレメント・ボーダーの設定

ライトペンの電源をチェックする



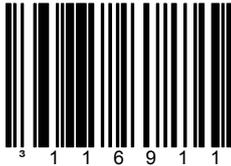
スキャナはデータ送信の前に有効な電源電圧を待機します。

* ライトペンの電源をチェックしない



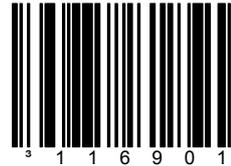
スキャナはデータ送信の前に有効な電源電圧を待機しません。

ライトペンの追加切り替えを有効にする

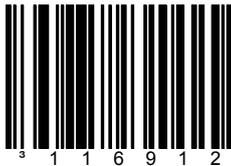


スキャナはブザーを鳴らし、デコーダーをチェックする追加データパルスでライトペン・データラインを切り替えます。

* ライトペンの追加切り替えを無効にする

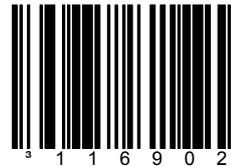


10x 細エレメント・ボーダー



10x ボーダーを使用したライトペン/Wand エミュレーションの送信を許可します。

* 50x 細エレメント・ボーダー



50x ボーダーを使用したライトペン/Wand エミュレーションの送信を許可します。

セクション J 細エレメント幅の設定／レーザーエミュレーション

* 1ミリ秒の細エレメント幅



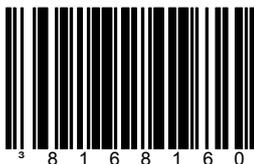
1 ミリ秒の細エレメント幅でライトペン／Wand エミュレーションの送信を許可します。

60 マイクロ秒の細エレメント幅



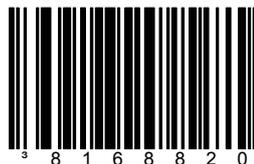
60 マイクロ秒の細エレメント幅で送信します。

100 マイクロ秒の細エレメント幅



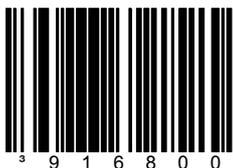
100 マイクロ秒の細エレメント幅で送信します。

500 マイクロ秒の細エレメント幅



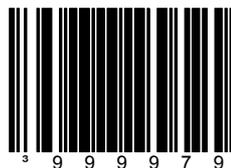
500 マイクロ秒の細エレメント幅で送信します。

～ 可変の細エレメント幅 †



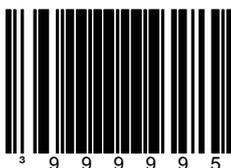
† viii ページのマルチコード方式を参照してください。

レーザーエミュレーション



6 マイクロ秒単位で最小 x 幅を設定します。このバーコードをスキャンし、続いてセクション M に記載されている 3 桁のコードバイトシーケンスをスキャンします。 †

IBM 46xx デフォルトを読み込む



IBM 46xx システムのデフォルトフォーマット設定を読み込みます。

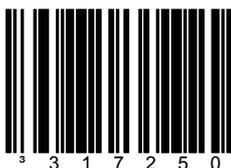
IBM 46xx 通信を有効にする



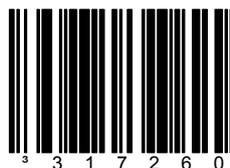
IBM 46xx SIOC/RS485 通信にはこの機能を選択します。

i スキャナによってはこのインターフェースに対応していません。適切なインターフェースボードが必要です。

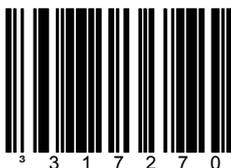
IBM ポート 17B
3687-2 イン・カウンター



IBM ポート 5B
1520 HH レーザー



* IBM ポート 9B
4500 CCD HH BCR1



IBM ポート 9B
4501 CCD HH BCR2



セクション K

IBM 予備コード

IBM 予備#1



IBM 予備 #2



IBM 予備 #3

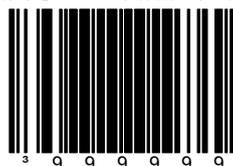


IBM 予備 #5



ユーザー設定可能なプレフィックス、読取桁数、その他の機能を以下のコードバイトを使用して設定する場合は、スキャナを設定モードにする必要があります。設定サイクルを開始する前に、「設定モード開始/終了」バーコードをスキャンしてください。シングルコード設定モードはこれらのマルチコードシーケンスでは機能しません。

設定モード開始/終了



例

ユーザー設定が可能なプレフィックス/サフィックスのキャラクタ（セクション E）は、ASCII キャラクタに相当する 3 桁の 10 進数を該当するコードバイト・バーコードを使って適切なキャラクタロケーションにスキャンして、スキャナに保存できます。

プレフィックスとしてアスタリスク（*）を追加するには、次の順番でバーコードをスキャンしてください。

1. 「設定モード開始/終了」 (ブザー音 3 回)
2. 「設定可能なプレフィックス#1」 (ブザー音 1 回)
3. 「コードバイト 0」 (ブザー音 1 回)
4. 「コードバイト 4」 (ブザー音 2 回)
5. 「コードバイト 2」 (ブザー音 3 回)
6. 「設定モード開始/終了」 (ブザー音 3 回)

セクション M

コードバイト 0-5

コードバイト 0



コードバイト 1



コードバイト 2



コードバイト 3



コードバイト 4



コードバイト 5



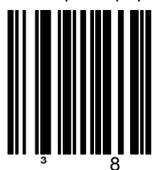
コードバイト 6



コードバイト 7



コードバイト 8



コードバイト 9



セクション M

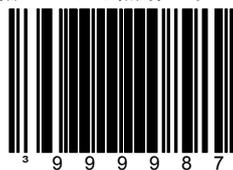
予備コード

～予備コードを有効にする



この機能の詳しい情報に関してはメトロロジックのカスタマーサービス担当者にご連絡ください。

～予備コードを無効にする



コードバイト	コードタイプ
004	UPC-A
002	UPC-E
003	EAN-8
005	EAN-13
080	Code 39
081	Codabar
082	Interleaved 2 of 5
083	Code 128
084	Code 93
091	MSI Plessey
092	Code 11
093	Airline 2 of 5 (15 桁)
094	Matrix 2 of 5
095	Telepen
096	UK Plessey
098	Standard 2 of 5
097	Airline (13 桁)
099	TRI-OPTIC

セクション M

ASCII 参照表

HEX 値	10 進値 / コードバイト値	キャラクタ	対応するキーボード操作
00	000	NUL	@
01	001	SOH	A
02	002	STX	B
03	003	ETX	C
04	004	EOT	D
05	005	ENQ	E
06	006	ACK	F
07	007	BEL	G
08	008	BS	H
09	009	HT	I
0A	010	LF	J
0B	011	VT	K
0C	012	FF	L
0D	013	CR	M
0E	014	SO	N
0F	015	SI	O
10	016	DLE	P
11	017	DC1	Q
12	018	DC2	R
13	019	DC3	S
14	020	DC4	T
15	021	NAK	U
16	022	SYN	V
17	023	ETB	W
18	024	CAN	X
19	025	EM	Y
1A	026	SUB	Z

HEX 値	10 進値 / コードバイト値	キャラクタ	対応するキーボード操作
1B	027	ESC	[
1C	028	FS	\
1D	029	GS	^
1E	030	RS	-
1F	031	US	
20	032	SP	スペース、ブランク
21	033	!	
22	034	"	
23	035	#	
24	036	\$	
25	037	%	
26	038	&	
27	039	'	アポストロフィ
28	040	(
29	041)	
2A	042	*	
2B	043	+	
2C	044	,	コンマ
2D	045	-	マイナス
2E	046	.	ピリオド
2F	047	/	
30	048	0	数字 0
31	049	1	数字 1
32	050	2	
33	051	3	
34	052	4	
35	053	5	

セクション M

ASCII 参照表

HEX 値	10 進値 / コードバイト値	キャラクタ	対応する キーボード操作
36	054	6	
37	055	7	
38	056	8	
39	057	9	
3A	058	:	
3B	059	;	
3C	060	<	小なり
3D	061	=	
3E	062	>	大なり
3F	063	?	
40	064	@	Shift P
41	065	A	
42	066	B	
43	067	C	
44	068	D	
45	069	E	
46	070	F	
47	071	G	
48	072	H	
49	073	I	文字 I
4A	074	J	
4B	075	K	
4C	076	L	
4D	077	M	
4E	078	N	

HEX 値	10 進値 / コードバイト値	キャラクタ	対応する キーボード操作
4F	079	O	文字 O
50	080	P	
51	081	Q	
52	082	R	
53	083	S	
54	084	T	
55	085	U	
56	086	V	
57	087	W	
58	088	X	
59	089	Y	
5A	090	Z	
5B	091	[Shift K
5C	092	\	Shift L
5D	093]	Shift M
5E	094	^	↑ (上向き矢印)、Shift N
5F	095	_	← (左向き矢印)、Shift O、 アンダースコア
60	096	‘	アクセント記号
61	097	a	
62	098	b	
63	099	c	
64	100	d	
65	101	e	
66	102	f	
67	103	g	
68	104	h	
69	105	i	

セクション M

ASCII 参照表

HEX 値	10 進値 / コードバイト値	キャラクタ	対応する キーボード操作
6A	106	j	
6B	107	k	
6C	108	l	
6D	109	m	
6E	110	n	
6F	111	o	
70	112	p	
71	113	q	
72	114	r	
73	115	s	
74	116	t	
75	117	u	
76	118	v	
77	119	w	
78	120	x	
79	121	y	
7A	122	z	
7B	123	{	
7C	124		縦スラッシュ
7D	125	}	Alt モード
7E	126	~	(Alt モード)
7F	127	DEL	Delete、Rubout

キー	AT スキャ ンコード	PS2 スキャ ンコード	3151	プレフィックス/サフィックス値 Hex = 10 進値
↑	75H	48H	63H	80H = 128
↓	72H	50H	60H	81H = 129
→	74H	4DH	6AH	82H = 130
←	6BH	4BH	61H	83H = 131
Insert	70H	52H	67H	84H = 132
Delete	71H	53H	64H	85H = 133
Home	6CH	47H	6EH	86H = 134
End	69H	4FH	00H	87H = 135
Page Up	7DH	49H	00H	88H = 136
Page Down	7AH	51H	00H	89H = 137
右 Alt	11H	38H	00H	8AH = 138
右 Ctrl	14H	1DH	39H	8BH = 139
予備	00H	00H	00H	8CH = 140
予備	00H	00H	00H	8DH = 141
数字キーパッド Enter	5AH	1CH	79H	8EH = 142
数字キーパッド /	4AH	35H	00H	8FH = 143
F1	05H	3BH	07H	90H = 144
F2	06H	3CH	0FH	91H = 145
F3	04H	3DH	17H	92H = 146
F4	0CH	3EH	1FH	93H = 147
F5	03H	3FH	27H	94H = 148
F6	0BH	40H	2FH	95H = 149
F7	83H	41H	37H	96H = 150
F8	0AH	42H	3FH	97H = 151
F9	01H	43H	47H	98H = 152
F10	09H	44H	4FH	99H = 153
F11	78H	57H	56H	9AH = 154
F12	07H	58H	5EH	9BH = 155
数字 +	79H	4EH	00H	9CH = 156

セクション M

拡張キーコード参照表

キー	AT スキャ ンコード	PS2 スキャ ンコード	3151	プレフィックス/サフィックス値 HEX = 10 進値
数字 -	7BH	4AH	7CH	9DH = 157
数字 *	7CH	37H	00H	9EH = 158
Caps Lock	58H	3AH	14H	9FH = 159
Num Lock	77H	45H	00H	A0H = 160
左 ALT	11H	38H	00H	A1H = 161
左 CTRL	14H	1DH	11H	A2H = 162
左 Shift	12H	2AH	12H	A3H = 163
右 Shift	59H	36H	59H	A4H = 164
Print Screen	Multiple	00H	00H	A5H = 165
Tab	0DH	0FH	0DH	A6H = 166
Shift Tab	8DH	8FH	65H	A7H = 167
Enter	5AH	1CH	5AH	A8H = 168
ESC	76H	01H	08H	A9H = 169
左 ALT Make	11H	36H	00H	AAH = 170
左 ALT Break	11H	B6H	00H	ABH = 171
左 CTRL Make	14H	1DH	00H	ACH = 172
左 CTRL Break	14H	9DH	00H	ADH = 173
* 左 ALT + 1 キヤラク タ	11H	36H	00H	AEH = 174
* 左 CTRL + 1 キヤラ クタ	14H	1DH	00H	AFH = 175
* Send			58H	C0H = 192
Clear			6FH	C1H = 193
Jump			76H	C2H = 194
Send Line			7EH	C3H = 195
Erase EOF			6DH	C4H = 196
Send - Make のみ			58H	C5H = 197

* 例

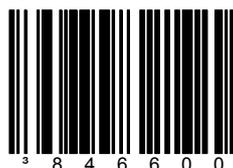
1 桁目の設定可能なプレフィックス = 174

2 桁目の設定可能なプレフィックス = 065

スキャナは<左 ALT Make> 「A」 <左 ALT Break> を送信します。

メトロロジックでは OEM アプリケーションに対応したスキャナも製造しています。それらのスキャナはメトロロジックの工場出荷デフォルトとは異なったデフォルト設定を使用している場合があります。次のバーコードをスキャンすると、メトロロジックの工場出荷デフォルトに再設定できます。

工場出荷デフォルトを有効にする



このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、メトロロジックの工場出荷デフォルトが読み込まれ、有効になります。

デフォルト



セクション N

カスタムデフォルト

Ruby Verifone デフォルト



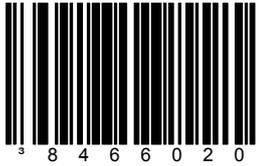
このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、Ruby Verifone のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

RCH



このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、RCH のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

Sanyo



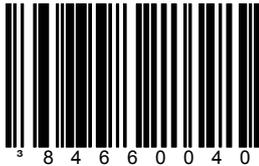
このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、Sanyo のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

Gilbarco



このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、Gilbarco のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

ALT デフォルト



このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、ALT のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

MS6750 デフォルト



このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、MS6750 のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

セクション N

カスタムデフォルト

German Post デフォルト



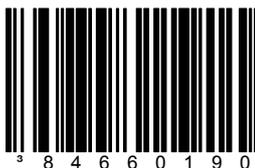
このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、German Post のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

Wincor Nixdorf デフォルト



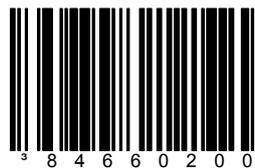
このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、Wincor Nixdorf のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

Quantum Pharmacy デフォルト



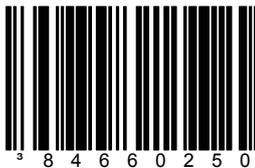
このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、Quantum Pharmacy のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

Korean Mental デフォルト



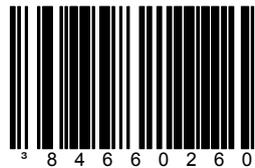
このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、Korean Mental のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

Wincor Nixdorf、
QuantumE デフォルト



このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、Wincor Nixdorf、QuantumE のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

Auxiliary Wincor Nixdorf Plus
Markets デフォルト

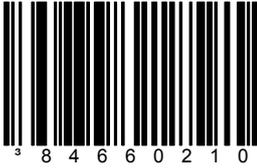


このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、Auxiliary Wincor Nixdorf Plus Markets のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

セクション N

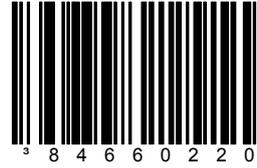
カスタムデフォルト

Custom 21 デフォルト



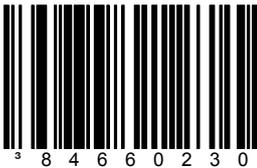
このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、**Custom 21** のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

Custom 22 デフォルト



このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、**Custom 22** のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

Custom 23 デフォルト



このコードに続いて「デフォルト」コードをスキャンすると、**Custom 23** のデフォルトが読み込まれ、有効になります。

カスタム端末 FR1



カスタムキーボード FR1



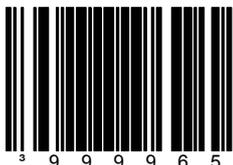
シリアル設定モードでは、すべてのコマンドは STX (02 Hex) と ETX (03 Hex) で囲まれていなければなりません。デフォルトに戻すには以下を行います。

1. シリアルポートを通じて<STX>999999<ETX>を送信します。これでスキャナはシリアル設定モードになります。スキャンが一時停止し、スキャナは ACK (06 Hex) と応答します。
2. シリアルポートを通じて<STX>999998<ETX>を送信します。これは MetroSelect ガイドに記載する「デフォルト」バーコードです。スキャナは ACK (06 Hex) と応答します。
3. シリアルポートを通じて<STX>999999<ETX>を送信します。これでスキャナは設定モードを終了し、新しい設定を保存します。スキャナはブザーを 3 回鳴らし、ACK (06 Hex) を送信します。

スキャナがコマンドを認識できないときは常時 NAK (15 Hex) と応答します。

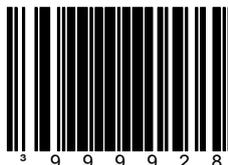
ソフトウェア／シリアルナンバー

ソフトウェアナンバー



スキャナはソフトウェアナンバーを送信します。

スキャナの情報



このバーコードは「Main (主要)」および「Interface Coprocessor (インターフェース・コプロセッサ)」ソフトウェアナンバーとスキャナのシリアルナンバーを同時に送信します。

データはフォーマットされたバーコードデータとして出力されます。

(例：15xxx/15xxx/
9876543210、x は任意の非数値を表します)

* AUX ポートを無効にする



AUX ポートおよび第 2 スキャナのデータフォーマット



以下のセクションには、メトロロジックの一部機種しか利用できない機能が含まれています。詳しい情報と技術的なサポートに関してはメトロロジックのカスタマーサービス担当者にお尋ねください。

メトロロジックのスキャナを第 2 スキャナとして使用する場合

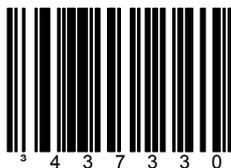
以下の**ステップ 1**に従い、メトロロジックのスキャナを第 2 スキャナとして容認するよう AUX ポートを設定してください。次に、**ステップ 2**で AUX ポートのデータフォーマットと一致するように第 2 スキャナを設定してください。

第 2 スキャナがメトロロジックのスキャナではない場合、ページ 0-3を参照し、「第 2 スキャナとして他社製の RS-232 スキャナを使用する場合」の指示に従ってください。

i AUX 入力ポートのデータフォーマットは第 2 スキャナの主出力フォーマットに一致していなければなりません。

ステップ 1: 以下のバーコードをスキャンしてメインスキャナの AUX ポートを有効にします。

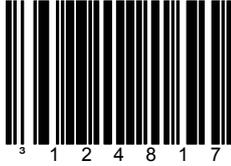
AUX ポートデータフォーマット



セクション 0 AUXポートおよび第2スキャナのデータフォーマット

ステップ 2: 次に、以下のバーコードを順番にスキャンして、第2スキャナを設定します。

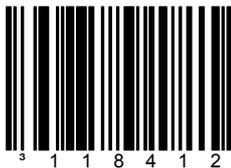
1. AUX出力を有効にする



2. 第2スキャナのデータフォーマット



3. 通信タイムアウトを有効にする



4. 第2スキャナのブザーをオフにする (オプション)



セクション 0 AUXポートおよび第2スキャナのデータフォーマット

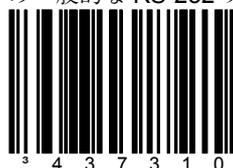


以下のセクションには、メトロロジックの一部機種でしか利用できない機能が含まれています。詳しい情報と技術的なサポートに関してはメトロロジックのカスタマーサービス担当者にお尋ねください。

第2スキャナとして他社製のRS-232スキャナを使用する場合

以下のバーコードをスキャンしてメインスキャナのAUXポートを有効にしてください。

AUXポートの一般的なRS-232フォーマット



AUX入力ポートのデータフォーマットは第2スキャナの主出力フォーマットに一致していなければなりません。第2スキャナはRTS/CTSハンドシェイクに対応し、データ上にキャリッジ・リターン (ASCII 0DH) ターミネータがなければなりません。



「AUXポートの一般的なRS-232フォーマット」のデフォルト設定は以下の通りです。

- ボーレート 38400
- 7データビット
- 2ストップビット
- 空白パリティ

セクション 0

追加 AUX ポートのデータフォーマット

i AUX入力ポートのデータフォーマットは第2 スキャナの主出力フォーマットに一致していなければなりません。

AUX ポートで UPC サプリメントデータフォーマットを有効にする



AUX ポートでコード選択データフォーマットを有効にする



AUX ポートで Tech 7、8 データフォーマットを有効にする



AUX ポートで予備 2 データフォーマットを有効にする



AUX ポートで Beetle モードデータフォーマットを有効にする



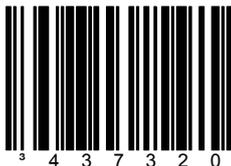
AUX ポートで予備 1 データフォーマットを有効にする



セクション O

追加 AUX ポートのデータフォーマット

AUX ポートで Stratos デコードデータフォーマットを有効にする



AUX ポートのボーレート

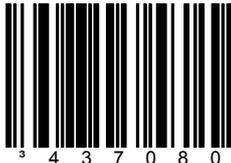
AUX ボーレート 115200



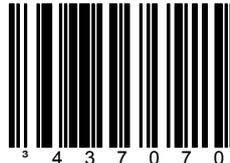
AUX ボーレート 57600



AUX ボーレート 38400



AUX ボーレート 19200



セクション 0

AUX ポートのボーレート

AUX ボーレート 14400



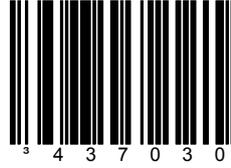
AUX ボーレート 9600



AUX ボーレート 4800



AUX ボーレート 2400



AUX ボーレート 1200



AUX ボーレート 600

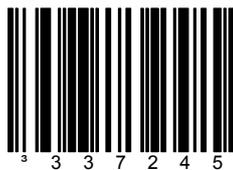


AUX ボーレート 300

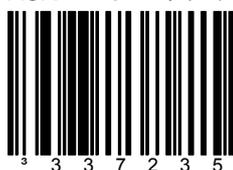


AUX ポートのパリティ

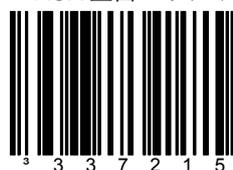
AUX パリティなし



AUX マークパリティ



* AUX 空白パリティ



セクション 0

AUX ポートのパリティ

AUX 偶数パリティ

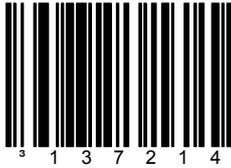


AUX 奇数パリティ

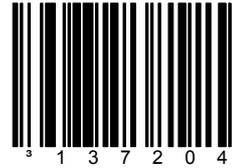


AUX ポートのストップビット／データビット

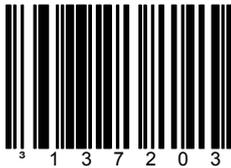
AUX 1ストップビット



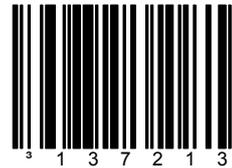
* AUX 2ストップビット



* AUX 7データビット



AUX 8データビット



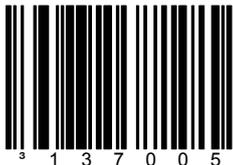
* AUX RTS/CTS ハンドシェイクを有効にする



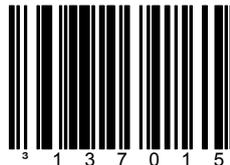
AUX RTS/CTS ハンドシェイクを無効にする



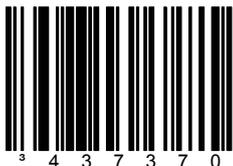
メッセージ AUX RTS/CTS



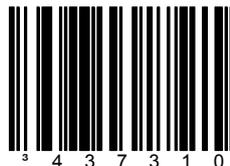
* キャラクタ AUX RTS/CTS



AUX ポートモード 7 を有効にする



AUX ポートモード 7 を無効にする

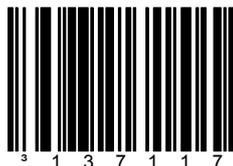


モード 7 は AUX ポート RTS/CTS ハンドシェイクが無効の場合、プレフィックス／サフィックスコードの受信を有効にします。

セクション O

AUX D/E、F/L および M/O

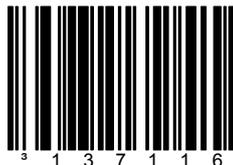
AUX 「D/E」 コマンドを有効にする



* AUX 「D/E」 コマンドを無効にする



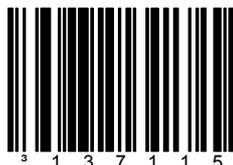
AUX 「F/L」 コマンドを有効にする



* AUX 「F/L」 コマンドを無効にする



AUX 「M/O」 コマンドを有効にする



* AUX 「M/O」 コマンドを無効にする



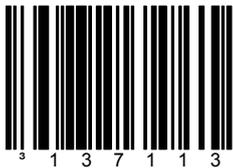
* AUX XON/XOFF ハンド
シェークを有効にする



AUX XON/XOFF ハンド
シェークを無効にする



* AUX ACK/NAK コマンドを
有効にする



AUX ACK/NAK コマンドを無
効にする



セクション O

AUX CTS および RTS ポラリティ

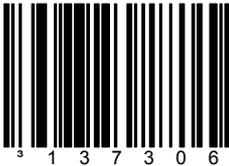
* 標準 AUX CTS ポラリティ



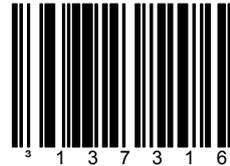
反転 AUX CTS ポラリティ



* 標準 AUX RTS ポラリティ

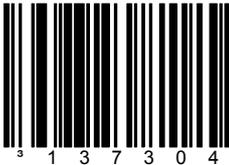


反転 AUX RTS ポラリティ



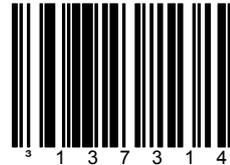
AUX 同一シンボル・タイムアウト

* AUX は同一シンボル・タイムアウトを持つ



この機能は、AUX スキャナがメインスキャナの同一シンボル・タイムアウトよりも早くスキャン（リピート）した場合、メインスキャナの同一シンボル・タイムアウトをスキップします。

AUX 同一シンボル・タイムアウトなし



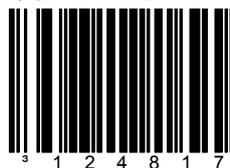
メトロロジックは「AUX 同一シンボル・タイムアウト」機能が無効のとき、AUX スキャナのブザーをオフにすることを推奨します。

セクション O

主出力ポートの AUC データフォーマット

スキャナを他のスキャナの AUC 入力の第 2 スキャナとして使用する場合、出力データは以下のフォーマットのいずれかになります。

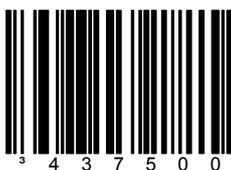
予備 Code 32



HoloTrak デコードデータフォーマットを使用して第 2 スキャナに予備 Code 32 を素早く設定できます。

i このコードは MS6720 には使用できません。

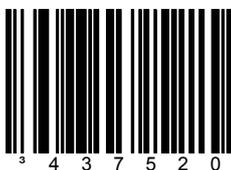
* HoloTrak デコード出力
AUC データフォーマット



UPC サプリメント出力 AUC
データフォーマット



Stratos デコード出力 AUC
データフォーマット



コード選択出力 AUC データ
フォーマット



セクション O

主出力ポートの **AUX** データフォーマット

TECH 7 & 8 出力 AUX データ
フォーマット



予備 1 出力 AUX データ
フォーマット



予備 2 出力
AUX データフォーマット



Beetle モード
AUX データフォーマット



セクション 0

キャラクタ間の遅延

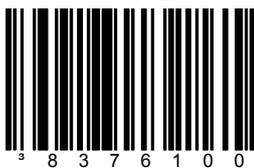
AUX ポート
キャラクタ間遅延なし



* 1 ミリ秒の AUX ポートキャラクタ間の遅延



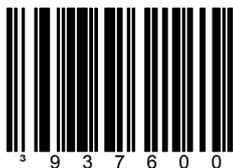
10 ミリ秒の AUX ポートキャラクタ間の遅延



25 ミリ秒の AUX ポートキャラクタ間の遅延



~ 可変 AUX ポートキャラクタ間の遅延



AUX ポートから送信されるキャラクタ間の遅延は、1 ミリ秒単位で設定できます。「可変 AUX ポートキャラクタ間の遅延」バーコードをスキャンし、続いて 001 から 255 ミリ秒の範囲のコードバイトの 3 つのキャラクタシーケンスをスキャンしてください。

viii ページのマルチコード設定方法を参照してください。

セクション O

AUXポートのコントロール

AUXからのブザーを無効にする



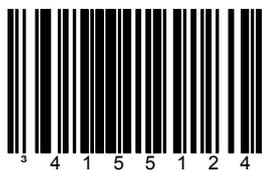
AUXポートからバーコードが送られてきた場合、メインスキャナのブザー音を無効にします。これはバーコードの送信を確認するため、AUXがブザーを鳴らさずにメインスキャナがブザーを鳴らす機能の逆です。

* AUXからのブザーを許可する

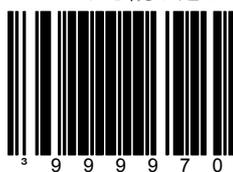


AUXポートからバーコードが送られてきた場合、メインスキャナがブザーを鳴らすことを許可します。これはデフォルト条件です。

高速 USB を有効にする



内蔵の高速 USB IBM/OEM デ
フォルトを読み込む

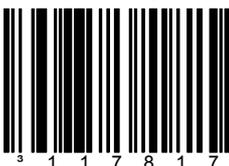


セクション P

USB

以下のコードは「内蔵の高速 USB IBM/OEM デフォルトを読み込む」バーコードがスキャンされていない場合に使用できます。

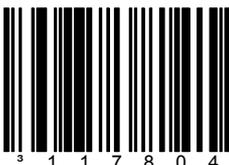
USB IBM ID を有効にする



* USB IBM ID を無効にする



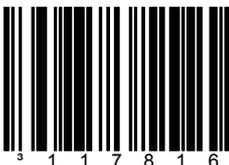
* 拡張コード ID



レガシーコード ID



予備



* ノーマル USB 出力



以下のコードは「内蔵の高速 USB IBM/OEM デフォルトを読み込む」バーコードがスキャンされていない場合に使用できます。

IBM OEM スキャナ 4A00h フ
ラットベッド



高速 USB のみ

IBM OEM スキャナ 4B00h ハ
ンドヘルド



高速 USB のみ

4A00h/6E00h テーブルトップ
スキャナ/スケール



* USB キーボード・エミュ
レーションモードを有効に
する



単方向 USB シリアル・エ
ミュレーションモードを有効
にする



二方向 USB シリアル・エ
ミュレーションモードを有効
にする



セクション P

USB

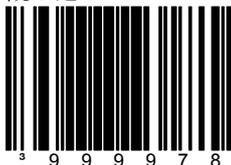
低速 USB を有効にする



低速 USB POS デフォルトを有効にする



低速外部 USB デフォルトを読み込む

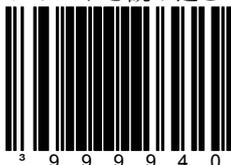


低速内部 USB キーボードデフォルトを読み込む



低速 (LS) USB とラベル表示された製品にのみ使用します。

高速キーボード内部 USB デフォルトを読み込む

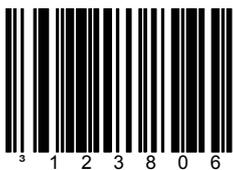


高速 (FS) USB とラベル表示された製品にのみ使用します。

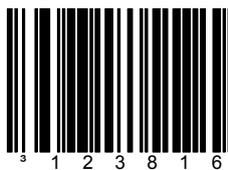
以下のバーコードは特に指定のない限り使用が IS3480、MS3580、MS3780 に限定されます。

ボタンモード

* ボタンクリックパターン・切り替えモード

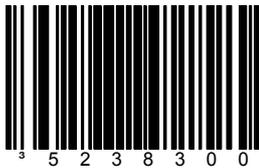


ボタンホールドパターン・切り替えモード

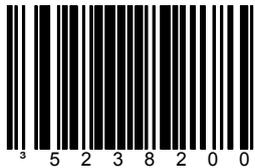


ボタンクリックの遅延

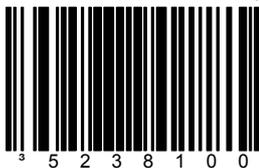
15 秒のタイムアウト †



10 秒のタイムアウト †



* 5 秒のタイムアウト †



無限のタイムアウト †



† この機能は MS3780 では使用できません。

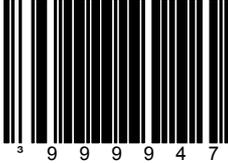
セクション R

IS3480 / MS3580 / MS3780

以下のバーコードは特に指定のない限り使用が IS3480、MS3580、MS3780（スタンド上）に限定されます。

第 1 スキャンパターン

* 主要・全方向



このバーコードは全方向の読み取りについて第 1 パターンを全スキャンラインに設定します。

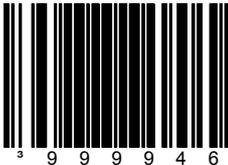
第 2 スキャンパターン

第 2 ・全方向



このバーコードは全方向の読み取りについて第 2 パターンを全スキャンラインに設定します。

第 1 ・ラスター



このバーコードは第 1 パターンを水平方向のラスターに設定します。

第 2 ・ラスター



このバーコードは第 2 パターンを水平方向のラスターに設定します。

第 1 ・シングルライン



このバーコードは第 1 パターンをメニュー読取のシングルラインに設定します。

第 2 ・シングルライン

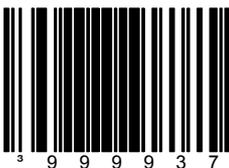


このバーコードは第 2 パターンをメニュー読取のシングルラインに設定します。

以下のバーコードは特に指定のない限り使用がMS3780（スタンド取り外し状態）に限定されます。

第 1 スキャンパターン

* 第 1・全方向・スタンド取り外し状態



このバーコードは全方向の読み取りについて第 1 パターンを全スキャンラインに設定します。

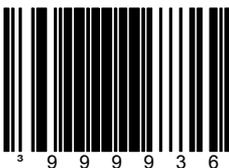
第 2 スキャンパターン

第 2・全方向・スタンド取り外し状態



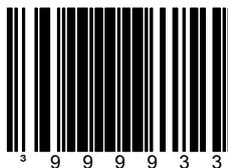
このバーコードは全方向の読み取りについて第 2 パターンを全スキャンラインに設定します。

第 1・ラスター・スタンド取り外し状態



このバーコードは第 1 パターンを水平方向のラスターに設定します。

第 2・ラスター・スタンド取り外し状態



このバーコードは第 2 パターンを水平方向のラスターに設定します。

第 1・シングルライン・スタンド取り外し状態



このバーコードは第 1 パターンをメニュー読取のシングルラインに設定します。

第 2・シングルライン・スタンド取り外し状態



このバーコードは第 2 パターンをメニュー読取のシングルラインに設定します。

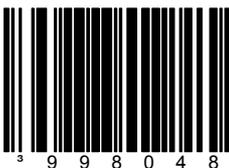
セクション R

IS3480 / MS3580 / MS3780

以下のバーコードは特に指定のない限り使用が IS3480、MS3580、MS3780 に限定されます。

スイートスポットモード

スイートスポットモードを有効にする



スイートスポットモードは特定のバーコードタイプに対し、読取速度が最大になる「スイートスポット」の場所を特定するのに使用します。スイートスポットモードについての詳細は、「IS3480 取り付けおよびユーザーガイド (MLPN 00-02026)」を参照してください。



この機能は MS3580、MS3780 では使用できません。

CodeGate® (IS3480 / MS3580)

* CodeGate を有効にする



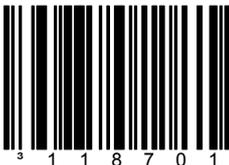
このバーコードは MS3780 では使用できません。R6ページの MS3780 に限定される CodeGate オプションを参照してください。

CodeGate を無効にする



読取深度

* ノーマル読取深度



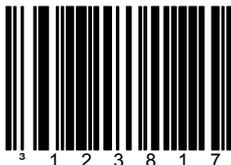
狭い読取深度



以下のバーコードは特に指定のない限り使用が IS3480、MS3580、MS3780 に限定されます。

IR (赤外線) の稼働

IR の稼働



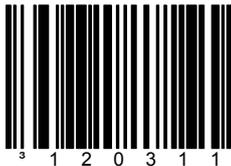
* IR の稼働を無効にする



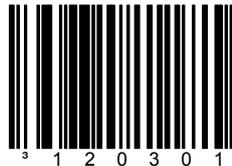
TTL RS232

以下のバーコードは TTL RS232 Quantum シリーズ (IS/MS3x80-102) にのみ有効です。

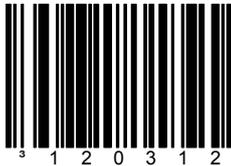
TTL RS232 を有効にする



TTL RS232 無効にする

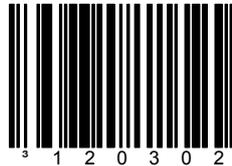


TTL RxD および TxD を反転する



TTL RxD および TxD ピンは 0V でアイドルになります。

スタンダード TTL RxD および TxD



TTL RxD および TxD ピンは +5V でアイドルになります。

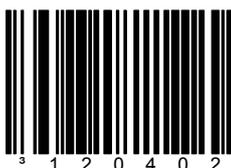
セクション R

MS3780

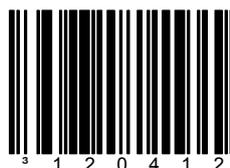
以下のバーコードは特に指定のない限り使用がMS3780に限定されます。

CodeGate (MS3780)

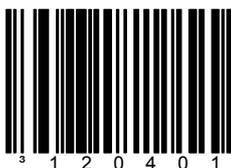
- * CodeGate、スタンド取り外し状態、第1パターンでの稼働を有効にする



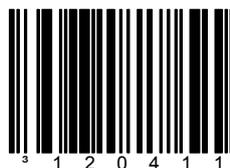
- CodeGate、スタンド取り外し状態、第1パターンでの稼働を無効にする



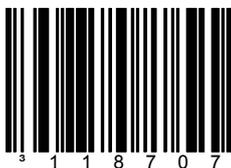
- * CodeGate、スタンド取り外し状態、第2パターンでの稼働を有効にする



- CodeGate、スタンド取り外し状態、第2パターンでの稼働を無効にする



- スタンド上で CodeGate を有効にする



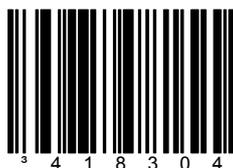
- * スタンド上で CodeGate を無効にする



以下のバーコードは特に指定のない限り使用がMS3780に限定されます。

モード (MS3780)

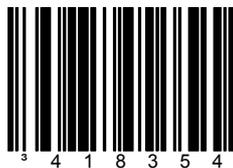
ノーマルモードを有効にする



IR稼働モードを有効にする

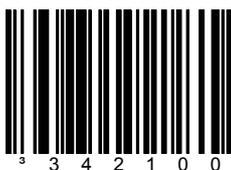


トリガーモードを有効にする



以下のバーコードは **Stratos** シリーズおよび、**Fusion** と **Voyager** の一部の機種に使用されます。詳しい情報と技術的なサポートについては、メトロロジックのカスタマーサービス担当者にお尋ねください。

* ROM エミュレーション・バージョン 1

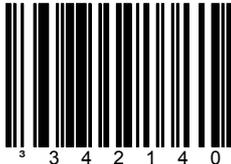


ROM エミュレーション・バージョン 1 はデフォルトの ROM エミュレーションです。デフォルト ROM エミュレーションはスキャナによって異なります。この機能はホストシステムから要求があった場合、ROM のバージョン情報を送信します。

ROM エミュレーション・バージョン 3



ROM エミュレーション・バージョン 5



ROM エミュレーション・バージョン 2



ROM エミュレーション・バージョン 4



ROM エミュレーション・バージョン 6



セクション S

プロトコル・フォーマット

ROM エミュレーション・
バージョン 7



ROM エミュレーション・
バージョン 8



各国の本部

Metrologic Instruments, Inc.

90 Coles Road Blackwood, NJ 08012-4683

Email: info@metrologic.com ▪ Tel: 856-228-8100 ▪ Customer Service: 1-800-ID-METRO

Fax: 856-228-6673 (Sales) ▪ Fax: 856-228-1879 (Marketing) ▪ Fax: 856-228-0653 (Legal/Finance)

Metrologic Companies

Omniplanar

Tel: 856.537.6100
Fax: 856.537.6116
Email: info@omniplanar.com

Metrologic - The Americas

Headquarters

Tel: 1.856.537.6400
Fax: 1.856.537.6474
Email: info@us.metrologic.com

Metrologic Canada

Tel: 416.752.7190
Fax: 416.752.8060
Email: info@ca.metrologic.com

Metrologic do Brasil Ltda.

Tel: 55.11.5182.7273
Fax: 55.11.5182.7198
Email: info@sa.metrologic.com

Metrologic Mexico, S.A. DE C.V.

Tel: 55.5365.6247
Fax: 55.5362.2544
Email: info@mx.metrologic.com

Metrologic South America

Tel: 239.642.1958
Fax: 239.642.1959
Email: info@sa.metrologic.com

Metrologic - USA

Tel: 1.856.537.6400
Fax: 1.856.537.6474
Email: info@us.metrologic.com

Metrologic - EMEA

Headquarters

Tel: 49-89-89019-0
Fax: 49-89-89019-200
Email: info@europe.metrologic.com

Metrologic Eria France SA

Tel: +33 (0) 1 48.63.78.78
Fax: +33 (0) 1 48.63.24.94
Email: info@fr.metrologic.com

Metrologic Eria Iberica, SL

Tel: +34 913 272 400
Fax: +34 913 273 829
Email: info@es.metrologic.com

Metrologic Russia

Tel: +7 095 730 7424
Fax: +7 095 730 7425
Email: info@ru.metrologic.com

Metrologic Instruments GmbH

Tel: 49-89-89019-0
Fax: 49-89-89019-200
Email: info@europe.metrologic.com

Metrologic Instruments Italia

Tel: +39 0 57 6511978 or
+39 051 651 1978
Fax: +39 0 51 6521337
Email: info@it.metrologic.com

Metrologic Instruments

Poland
Tel: +48 (22) 545 04 30
Fax: +48 (22) 545 04 31
Email: info@pl.metrologic.com

Metrologic Instruments

UK Limited
Tel: +44 (0) 1256 365900
Fax: +44 (0) 1256 365955
Email: info@uk.metrologic.com

Metrologic - APAC

Headquarters

Tel : (65) 6842-7155
Fax : (65) 6842-7166
Email: info@sg.metrologic.com

Beijing Sales Office

Tel/Fax: 86 10 82253472
Email: info@cn.metrologic.com

Chengdu Sales Office

Tel/Fax: 86 28 86200109
Email: info@cn.metrologic.com

Guangzhou Sales Office

Tel: 86-20-38823476
Fax: 86-20-38823477
Email: info@cn.metrologic.com

India Sales Office

Tel: +91 80 51256718
Fax: +91 80 51256719
Email: info@in.metrologic.com

Korea Sales Office

Tel: 82-2-6205-5379
Fax: 82-2-3444-3980
Email: Scott.lee@kr.metrologic.com

Metrologic Asia (Pte) Ltd

Tel : (65) 6842-7155
Fax : (65) 6842-7166
Email: info@sg.metrologic.com

Metrologic Japan Co., Ltd.

Tel: 81-3-3839-8511
Fax: 81-3-3839-8519
Email: info@jp.metrologic.com

Metrologic Thailand

Tel: 661-814-2352
Email: tawan.jandang@th.metrologic.com

MTLG Auto ID Instruments

(Shanghai) Co.,Ltd
Tel: 86-21-58692780
Fax: 86-21-58692782
Email: info@cn.metrologic.com

Suzhou Sales Office

Tel: 86-512-67622550
Fax: 86-512-67622560
Email: info@cn.metrologic.com

Taiwan Sales Office

Tel: 886-2-2351 0125
Email: john.cheng@tw.metrologic.com

April 2007

Printed in the USA



00 - 02407H